

(様式第 10)

H 2 9 がん研 第 028 号
平成 29 年 10 月 3 日

厚生労働大臣

殿

公益財団法人がん研究会 有明病院
開設者名 公益財団法人がん研究会
理事長 馬田 一 (印)

公益財団法人がん研究会有明病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 第 1 項及び医療法施行規則（昭和 23 年厚生省令第 50 号）第 9 条の 2 の 2 の第 1 項の規定に基づき、平成 28 年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒135-8550 東京都江東区有明3-8-31
氏 名	公益財団法人がん研究会

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

公益財団法人がん研究会有明病院

3 所在の場所

〒135-8550 東京都江東区有明3-8-31	電話(03) 3520 - 0111
--------------------------	----------------------

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
<input checked="" type="checkbox"/> 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	<input checked="" type="checkbox"/> 有	無	
内科と組み合わせた診療科名等			
<input checked="" type="checkbox"/> 1 呼吸器内科	<input checked="" type="checkbox"/> 2 消化器内科	3 循環器内科	4 腎臓内科
5 神経内科	<input checked="" type="checkbox"/> 6 血液内科	7 内分泌内科	8 代謝内科
<input checked="" type="checkbox"/> 9 感染症内科	10 アレルギー疾患内科またはアレルギー科	11 リウマチ科	
診療実績			

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科	<input checked="" type="checkbox"/>	有	・	無
外科と組み合わせた診療科名				
<input checked="" type="checkbox"/> 1呼吸器外科	<input checked="" type="checkbox"/> 2消化器外科	<input checked="" type="checkbox"/> 3乳腺外科	4心臓外科	
5血管外科	6心臓血管外科	7内分泌外科	8小児外科	
診療実績				

(注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること（「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと）。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

<input checked="" type="checkbox"/> 1精神科	2小児科	<input checked="" type="checkbox"/> 3整形外科	4脳神経外科	<input checked="" type="checkbox"/> 5皮膚科	<input checked="" type="checkbox"/> 6泌尿器科	7産婦人科
8産科	<input checked="" type="checkbox"/> 9婦人科	<input checked="" type="checkbox"/> 10眼科	11耳鼻咽喉科	12放射線科	<input checked="" type="checkbox"/> 13放射線診断科	
<input checked="" type="checkbox"/> 14放射線治療科	<input checked="" type="checkbox"/> 15麻酔科	<input checked="" type="checkbox"/> 16救急科				

(注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	<input checked="" type="checkbox"/>	有	・	無
歯科と組み合わせた診療科名				
1小児歯科	2矯正歯科	3口腔外科		
歯科の診療体制				

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1 乳腺内科	2腫瘍内科	3漢方内科	4疼痛緩和内科	5形成外科	6頭頸部外科	7病理診断科
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
0 床	0 床	0 床	0 床	700 床	700 床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	354人	164人	389.4人	看 護 補 助 者	88人	診 療 エ ッ ク ス 線 技 師	0人
歯 科 医 師	8人	3人	8.5人	理 学 療 法 士	9人	臨 床 検 査 技 師	86人
薬 剤 師	63人	0人	63.0人	作 業 療 法 士	1人	衛 生 検 査 技 師	0人
保 健 師	0人	0人	0人	視 能 訓 練 士	2人	そ の 他	0人
助 産 師	0人	0人	0人	義 肢 装 具 士	0人	あ ん 摩 マ ッ サ ー ジ 指 圧 師	0人
看 護 師	805人	13人	807.4人	臨 床 工 学 士	11人	医 療 社 会 事 業 従 事 者	8人
准 看 護 師	6人	1人	6.5人	栄 養 士	1人	そ の 他 の 技 術 員	37人
歯 科 衛 生 士	6人	1人	6.0人	歯 科 技 工 士	0人	事 務 職 員	200人
管 理 栄 養 士	11人	0人	11.0人	診 療 放 射 線 技 師	85人	そ の 他 の 職 員	58人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	35人	眼 科 専 門 医	2人
外 科 専 門 医	80人	耳 鼻 咽 喉 科 専 門 医	12人
精 神 科 専 門 医	3人	放 射 線 科 専 門 医	28人
小 児 科 専 門 医	0人	脳 神 経 外 科 専 門 医	0人
皮 膚 科 専 門 医	0人	整 形 外 科 専 門 医	6人
泌 尿 器 科 専 門 医	7人	麻 酔 科 専 門 医	27人
産 婦 人 科 専 門 医	15人	救 急 科 専 門 医	4人
		合 計	219人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (山口 俊晴) 任命年月日 平成 27年 6月 1日

2000.4~2008.10 (8年7ヵ月)	がん研究会有明病院医療安全管理委員会委員
2008.11~2015.6 (6年8ヶ月)	がん研究会有明病院医療安全管理委員会委員長
2015.7~	がん研究会有明病院医療安全管理委員会オブザーバーとして参加

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	607人	0人	607人
1日当たり平均外来患者数	1,724人	56人	1,780人
1日当たり平均調剤数	1,290 剤 (入院 527 剤 + 外来763 剤)		
必要医師数	163 人		
必要歯科医師数	2 人		
必要薬剤師数	21 人		
必要(准)看護師数	363 人		

- (注)1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設 備 概 要			
集中治療室	422.31m ²	SRC	病床数	10 床	心電計	有・無
			人工呼吸装置	有・無	心細動除去装置	有・無
			その他の救急蘇生装置	有・無	ペースメーカー	有・無
無菌病室等	[固定式の場合]	床面積	133.16 m ²	病床数	6 床	
	[移動式の場合]	台数	台			
医薬品情報管理室	[専用室の場合]	床積	47.06 m ²			
	[共用室の場合]	共用する室名				
化学検査室	416.7 m ²	SRC	日立ラボスペクト008、日立ラボスペクト006、アーキテクトi2000、ルミパルスプレスト、ルミパルスG1200、ラボフレックス3500、コールターDXH、STA-R、US-3100R、FOBIT-WAKO			
細菌検査室	78.25m ²	SRC	マイクロスキャンWalkaway96、コバスタqMan48			
病理検査室	378m ²	SRC	免疫染色装置、FISH解析装置、DISH解析装置、HE自動染色装置、OSNA法による転移診断装置、PCR装置、PT-PCR装置、シーケンサー(Sanger型)など			
病理解剖室	72.25m ²	SRC	写真診断装置、ストライカーなど			
研究室	1,519m ²	SRC	遺伝子解析システム、サーマルサイクラーなど			
講義室	370m ²	SRC	室数	3 室	収容定員	272 人
図書室	161.38m ²	SRC	室数	1 室	蔵書数	22,000 冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
- 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

	紹介率	84.5 %	逆紹介率	65.8 %
算 出 根 拠	A：紹介患者の数		9,603	人
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数		7,909	人
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数		561	人
	D：初診の患者の数		12,022	人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
 2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
 3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由（注）

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
遠山 信幸	自治医科大学 附属さいたま 医療センター 教授（医師）	○	客観的・専門的見 地から意見等を 述べるという委 員会の性格に鑑 み、医療安全を専 門としている教 授（医師）を構 成員とした。	有・無	1
大滝 恭弘	帝京大学板橋 キャンパス医 療共通教育研 究センター 准教授（弁 護士）		客観的・専門的見 地から意見等を 述べるという委 員会の正確に鑑 み、法律の専門 家、医療ジャー ナリズムに詳しい 学識経験者（弁 護士）を構成員 とした。	有・無	1
滝澤 邦夫	有明友の会 会長 (患者代表)		客観的・専門的見 地から意見等を 述べるという委 員会の性格に鑑 み、患者会代表 者の立場の方を 構成員とした。	有・無	2
關根 今生	がん研究会 有明病院 医師		以前に、症例検 討会で中心的に 関わっていたこ とがあり、適切 と考え、構成員 とした。	有・無	3
齊藤 彰一	がん研究会 有明病院 医師		前職で医療安全 の経験があるた め、適切と考え 、構成員とした。	有・無	3

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有・無
委員の選定理由の公表の有無	有・無
公表の方法 がん研究会有明病院ホームページ (http://www.jfcr.or.jp/hospital/safety_audit/index.html)	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
腹腔鏡下広汎子宮全摘術	28人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類(先進医療A)	取扱患者数
パクリタキセル静脈内投与(一週間に一回投与するものに限る。)及びカルボプラチン腹腔内投与(三週間に一回投与するものに限る。)の併用療法	0人
術後のホルモン療法及びS-1内服投与の併用療法 原発性乳がん(エストロゲン受容体が陽性であって、HER2が陰性のものに限る。)	6人
ペメトレキセド静脈内投与及びシスプラチン静脈内投与の併用療法 肺がん(扁平上皮肺がん及び小細胞肺がんを除き、病理学的見地から完全に切除されたと判断されるものに限る。)	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注)1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注)2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	0	56	ベーチェット病	6
2	筋萎縮性側索硬化症	0	57	特発性拡張型心筋症	0
3	脊髄性筋萎縮症	0	58	肥大型心筋症	0
4	原発性側索硬化症	0	59	拘束型心筋症	0
5	進行性核上性麻痺	0	60	再生不良性貧血	3
6	パーキンソン病	0	61	自己免疫性溶血性貧血	1
7	大脳皮質基底核変性症	0	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	0
8	ハンチントン病	0	63	特発性血小板減少性紫斑病	5
9	神経有棘赤血球症	0	64	血栓性血小板減少性紫斑病	0
10	シャルコー・マリー・トゥース病	0	65	原発性免疫不全症候群	0
11	重症筋無力症	1	66	IgA腎症	0
12	先天性筋無力症候群	0	67	多発性嚢胞腎	0
13	多発性硬化症/視神経脊髄炎	0	68	黄色靱帯骨化症	0
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多巣性運動ニューロパチー	0	69	後縦靱帯骨化症	1
15	封入体筋炎	0	70	広範脊柱管狭窄症	0
16	クドウ・深瀬症候群	0	71	特発性大腿骨頭壊死症	0
17	多系統萎縮症	0	72	下垂体性ADH分泌異常症	0
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	0	73	下垂体性TSH分泌亢進症	0
19	ライソゾーム病	0	74	下垂体性PRL分泌亢進症	0
20	副腎白質ジストロフィー	0	75	クッシング病	0
21	ミトコンドリア病	0	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	0
22	もやもや病	0	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	0
23	プリオン病	0	78	下垂体前葉機能低下症	0
24	亜急性硬化性全脳炎	0	79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0
25	進行性多巣性白質脳症	0	80	甲状腺ホルモン不応症	0
26	HTLV-1関連脊髄症	0	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	0
27	特発性基底核石灰化症	0	82	先天性副腎低形成症	0
28	全身性アミロイドーシス	0	83	アジソン病	0
29	ウルリッヒ病	0	84	サルコイドーシス	1
30	遠位型ミオパチー	0	85	特発性間質性肺炎	0
31	ペスレムミオパチー	0	86	肺動脈性肺高血圧症	0
32	自己貪食空胞性ミオパチー	0	87	肺静脈閉塞症/肺毛細血管腫症	0
33	シュワルツ・ヤンベル症候群	0	88	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	0
34	神経線維腫症	6	89	リンパ脈管筋腫症	0
35	天疱瘡	0	90	網膜色素変性症	0
36	表皮水疱症	0	91	バッド・キアリ症候群	0
37	膿疱性乾癬(汎発型)	0	92	特発性門脈圧亢進症	0
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	0	93	原発性胆汁性肝硬変	1
39	中毒性表皮壊死症	0	94	原発性硬化性胆管炎	0
40	高安動脈炎	0	95	自己免疫性肝炎	0
41	巨細胞性動脈炎	0	96	クローン病	7
42	結節性多発動脈炎	0	97	潰瘍性大腸炎	57
43	顕微鏡的多発血管炎	0	98	好酸球性消化管疾患	0
44	多発血管炎性肉芽腫症	0	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	0
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	0	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
46	悪性関節リウマチ	0	101	腸管神経節細胞減少症	0
47	パージャール病	1	102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	0
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	0	103	CFC症候群	0
49	全身性エリテマトーデス	5	104	コステロ症候群	0
50	皮膚筋炎/多発性筋炎	0	105	チャージ症候群	0
51	全身性強皮症	0	106	クリオピリン関連周期熱症候群	0
52	混合性結合組織病	0	107	全身型若年性特発性関節炎	0
53	シェーグレン症候群	0	108	TNF受容体関連周期性症候群	0
54	成人ステル病	0	109	非典型性溶血性尿毒症症候群	0
55	再発性多発軟骨炎	0	110	ブラウ症候群	0

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
111	先天性ミオパチー	0	161	家族性良性慢性天疱瘡	0
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0	162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	0
113	筋ジストロフィー	0	163	特発性後天性全身性無汗症	0
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0	164	眼皮皮膚白皮症	0
115	遺伝性周期性四肢麻痺	0	165	肥厚性皮膚骨膜炎	0
116	アトピー性脊髄炎	0	166	弾性線維性仮性黄色腫	0
117	脊髄空洞症	0	167	マルファン症候群	0
118	脊髄髄膜瘤	0	168	エーラス・ダンロス症候群	0
119	アイザックス症候群	0	169	メンケス病	0
120	遺伝性ジストニア	0	170	オクシピタル・ホーン症候群	0
121	神経フェリチン症	0	171	ウィルソン病	0
122	脳表ヘモジデリン沈着症	0	172	低ホスファターゼ症	0
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	0	173	VATER症候群	0
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	0	174	那須・ハコラ病	0
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	0	175	ウィーバー症候群	0
126	ペリー症候群	0	176	コフィン・ローリー症候群	0
127	前頭側頭葉変性症	0	177	有馬症候群	0
128	ピッカースタッフ脳幹脳炎	0	178	モワット・ウィルソン症候群	0
129	痙攣重症型(二相性)急性脳症	0	179	ウィリアムズ症候群	0
130	先天性無痛無汗症	0	180	ATR-X症候群	0
131	アレキサンダー病	0	181	クルーゾン症候群	0
132	先天性核上性球麻痺	0	182	アペール症候群	0
133	メビウス症候群	0	183	ファイファー症候群	0
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	184	アントレー・ピクスラー症候群	0
135	アイカルディ症候群	0	185	コフィン・シリス症候群	0
136	片側巨脳症	0	186	ロスムンド・トムソン症候群	0
137	限局性皮質異形成	0	187	歌舞伎症候群	0
138	神経細胞移動異常症	0	188	多脾症候群	0
139	先天性大脳白質形成不全症	0	189	無脾症候群	0
140	ドラベ症候群	0	190	鰓耳腎症候群	0
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	0	191	ウェルナー症候群	0
142	ミオクロニー欠伸てんかん	0	192	コケイン症候群	0
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0	193	プラダー・ウィリ症候群	0
144	レノックス・ガストー症候群	0	194	ソトス症候群	0
145	ウエスト症候群	0	195	ヌーナン症候群	0
146	大田原症候群	0	196	ヤング・シンプソン症候群	0
147	早期ミオクロニー脳症	0	197	1p36欠失症候群	0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	198	4p欠失症候群	0
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	199	5p欠失症候群	0
150	環状20番染色体症候群	0	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
151	ラスムッセン脳炎	0	201	アンジェルマン症候群	0
152	PCDH19関連症候群	0	202	スミス・マギニス症候群	0
153	難治頻回部分発作重症型急性脳炎	0	203	22q11.2欠失症候群	0
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	0	204	エマヌエル症候群	0
155	ランドウ・クレフナー症候群	0	205	脆弱X症候群関連疾患	0
156	レット症候群	0	206	脆弱X症候群	0
157	スタージ・ウェーバー症候群	0	207	総動脈幹遺残症	0
158	結節性硬化症	0	208	修正大血管転位症	0
159	色素性乾皮症	0	209	完全大血管転位症	0
160	先天性魚鱗癬	0	210	単心室症	0

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
211	左心低形成症候群	0	259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0
212	三尖弁閉鎖症	0	260	シトステロール血症	0
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	0	261	タンジール病	0
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	0	262	原発性高カイロミクロン血症	0
215	ファロー四徴症	0	263	脳腫黄色腫症	0
216	両大血管右室起始症	0	264	無βリポタンパク血症	0
217	エプスタイン病	0	265	脂肪萎縮症	0
218	アルポート症候群	0	266	家族性地中海熱	0
219	ギャロウェイ・モワト症候群	0	267	高IgD症候群	0
220	急速進行性糸球体腎炎	0	268	中條・西村症候群	0
221	抗糸球体基底膜腎炎	0	269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	0
222	一次性ネフローゼ症候群	0	270	慢性再発性多発性骨髄炎	0
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	0	271	強直性脊椎炎	0
224	紫斑病性腎炎	0	272	進行性骨化性線維異形成症	0
225	先天性腎性尿崩症	0	273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	0	274	骨形成不全症	0
227	オスラー病	0	275	タナトフォリック骨異形成症	0
228	閉塞性細気管支炎	0	276	軟骨無形成症	0
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	0	277	リンパ管腫症/ゴーハム病	0
230	肺胞低換気症候群	0	278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	0
231	α1-アンチトリプシン欠乏症	0	279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	0
232	カーニー複合	0	280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	0
233	ウォルフラム症候群	0	281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	0
234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	0	282	先天性赤血球形成異常性貧血	0
235	副甲状腺機能低下症	0	283	後天性赤芽球癆	0
236	偽性副甲状腺機能低下症	0	284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	0
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0	285	ファンconi貧血	0
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	0	286	遺伝性鉄芽球性貧血	0
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	287	エプスタイン症候群	0
240	フェニルケトン尿症	0	288	自己免疫性出血病XIII	0
241	高チロシン血症1型	0	289	クロンカイト・カナダ症候群	0
242	高チロシン血症2型	0	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	0
243	高チロシン血症3型	0	291	ヒルシュスブルング病(全結腸型又は小腸)	0
244	メーブルシロップ尿症	0	292	総排泄腔外反症	0
245	プロピオン酸血症	0	293	総排泄腔遺残	0
246	メチルマロン酸血症	0	294	先天性横隔膜ヘルニア	0
247	イソ吉草酸血症	0	295	乳幼児肝巨大血管腫	0
248	グルコーストランスポーター1欠損症	0	296	胆道閉鎖症	0
249	グルタル酸血症1型	0	297	アラジール症候群	0
250	グルタル酸血症2型	0	298	遺伝性膀胱炎	0
251	尿素サイクル異常症	0	299	嚢胞性線維症	0
252	リジン尿性蛋白不耐症	0	300	IgG4関連疾患	0
253	先天性葉酸吸収不全	0	301	黄斑ジストロフィー	0
254	ポルフィリン症	0	302	レーベル遺伝性視神経症	0
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0	303	アッシュャー症候群	0
256	筋型糖原病	0	304	若年発症型両側性感音難聴	0
257	肝型糖原病	0	305	遅発性内リンパ水腫	0
258	ガラクトース-1-リン酸ウルジルトランスフェラーゼ欠損症	0	306	好酸球性副鼻腔炎	0

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
307	カナバン病	0	319	セピアブテリン還元酵素(SR)欠損症	0
308	進行性白質脳症	0	320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症	0
309	進行性ミオクローヌステんかん	0	321	非ケトーシス型高グリシン血症	0
310	先天異常症候群	0	322	β ーケトチオラーゼ欠損症	0
311	先天性三尖弁狭窄症	0	323	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0
312	先天性僧帽弁狭窄症	0	324	メチルグルタコン酸尿症	0
313	先天性肺静脈狭窄症	0	325	遺伝性自己炎症疾患	0
314	左肺動脈右肺動脈起始症	0	326	大理石骨病	0
315	ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)/L MX1B関連腎症	0	327	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	0
316	カルニチン回路異常症	0	328	前眼部形成異常	0
317	三頭酵素欠損症	0	329	無虹彩症	0
318	シトリン欠損症	0	330	先天性気管狭窄症	0

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	リスク低減両側卵巣卵管切除術(RRSO)	取扱患者数	17人
当該医療技術の概要 対象者に対して遺伝カウンセリングを行い、リスク低減両側卵巣卵管切除術(RRSO)を希望した場合に①開腹単純子宮全摘術および両側付属器切除術②開腹両側付属器切除術③腹腔鏡下单純子宮全摘術および両側付属器切除術④腹腔鏡下両側付属器切除術に関してそれぞれ説明の上で、いずれかを施行することにより未発症の卵巣・卵管がんの発生リスクを軽減する。			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・歯科外来診療環境体制加算	・
・特定機能病院入院基本料7:1	・
・診療録体制加算1	・
・医師事務作業補助体制加算1(30:1)	・
・急性期看護補助体制加算(50:1)	・
・看護職員夜間配置加算(12:1)1	・
・療養環境加算	・
・重症者等療養環境特別加算	・
・無菌治療室管理加算1	・
・緩和ケア診療加算	・
・栄養サポートチーム加算	・
・医療安全管理加算1	・
・感染防止対策加算1	・
・患者サポート体制充実加算	・
・褥瘡ハイリスク患者ケア加算	・
・総合評価加算	・
・病棟薬剤師実務加算1	・
・データ提出加算	・
・退院支援加算2	・
・特定集中治療室管理料3	・
・緩和ケア病棟入院料	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・がん性疼痛緩和指管理料	・外来化学療法加算1
・がん患者指管理料1	・無菌製剤処理料
・がん患者指管理料2	・脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅱ)
・がん患者指管理料3	・運動器リハビリテーション料(Ⅰ)
・外来緩和ケア管理料	・呼吸器リハビリテーション料(Ⅱ)
・外来放射線照射診療料	・がん患者リハビリテーション料
・ニコチン依存症管理料	・リンパ浮腫複合的治療料
・がん治療計画策定料	・集団コミュニケーション療法料
・薬剤指管理料	・歯科口腔リハビリテーション料2
・検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料	・医科点数表第2章第9部処置の通則の5に掲げる処置の休日加算1
・医療機器安全管理料1	・医科点数表第2章第9部処置の通則の5に掲げる処置の時間外加算1
・医療機器安全管理料2	・医科点数表第2章第9部処置の通則の5に掲げる処置の深夜加算1
・歯科治療総合医療管理料	・CAD/CAM冠
・遺伝子検査	・組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合に限る。)
・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(管理ジェノタイプ判定)	・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(同種骨移植(非生体)(同種骨移植(特殊なものに限る。)))
・検体検査管理加算(Ⅰ)	・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
・検体検査管理加算(Ⅳ)	・乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検(併用)
・国際標準検査管理加算	・乳がんセンチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検(単独)
・遺伝カウンセリング加算	・乳腺悪性腫瘍手術(乳頭乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴わないもの)及び乳頭乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの))
・ロービジョン検査判断料	・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
・画像診断管理加算1	・大動脈バルーンパンピング法(IABP法)
・画像診断管理加算2	・腹腔鏡下小切開骨盤内リンパ節群郭清術、腹腔鏡下小切開後腹膜腫瘍摘出術、腹腔鏡下小切開後腹膜悪性腫瘍手術、腹腔鏡下小切開副腎摘出術、腹腔鏡下小切開腎部分切除、腹腔鏡下小切開腎摘出術、腹腔鏡下小切開尿管腫瘍摘出術、腹腔鏡下小切開腎(尿管)悪性腫瘍手術、腹腔鏡下小切開膀胱腫瘍摘出術及び腹腔鏡下小切開前立腺悪性腫瘍手術
・CT撮影及びMRI撮影	・胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)
・乳房MRI撮影加算	・腹腔鏡下肝切除術
・抗悪性腫瘍剤処方管理加算	・腹腔鏡下腓体尾部腫瘍切除術

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・腹腔鏡下膵頭十二指腸切除術	・口腔病理診断管理加算2
・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	・クラウン・ブリッジ維持管理料
・腹腔鏡下小切開膀胱悪性腫瘍手術	・
・人工尿道括約筋植込・置換術	・
・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)	・
・医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の休日加算1	・
・医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の時間外加算1	・
・医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の深夜加算1	・
・医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術	・
・輸血管理料Ⅱ	・
・人工肛門・人工膀胱増設術前処置加算	・
・歯周組織再生誘導手術	・
・麻酔管理料Ⅰ	・
・麻酔管理料Ⅱ	・
・放射線治療専任加算	・
・外来放射線治療加算	・
・高エネルギー放射線治療	・
・1回線量増加加算	・
・強度変調放射線治療(IMRT)	・
・画像誘導放射線治療(IGRT)	・
・体外照射呼吸性移動対策加算	・
・定位放射線治療	・
・定位放射線治療呼吸性移動対策加算	・
・画像誘導密封小線源治療加算	・
・病理診断管理加算2	・

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
•RET遺伝子診断	•
•	•
•	•
•	•
•	•
•	•
•	•
•	•
•	•
•	•
•	•
•	•
•	•
•	•
•	•
•	•
•	•
•	•

(注)1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。

(注)2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	1. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。
	2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	年 12 回
剖 検 の 状 況	剖検症例数 9 例 / 剖検率 2.07 %

(注) 「症例検討会の開催頻度」及び「剖検の状況」欄には、前年度の実績を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
わが国における遺伝性乳癌卵巣癌の臨床遺伝学的特徴の解明と遺伝子情報を用いた生命予後の改善に関する研究	新井 正美	遺伝子診療部	2,732,000	補	厚生労働省
がん診療科データベースとJapanese National Cancer Database (JNCDB)の運用と他がん登録との連携	小塚 拓洋	放射線治療部	100,000	補	厚生労働省
がん診療科データベースとJapanese National Cancer Database (JNCDB)の運用と他がん登録との連携	角 美奈子	放射線治療部	100,000	補	厚生労働省
全国がん登録と連携した臓器がん登録による大規模コホート研究の推進及び高質診療データベースの為にNCD長期予後入力システムの構築に関する研究	佐野 武	消化器外科	100,000	補	厚生労働省
先端的がん医療実施のための地域完結型病理診断および臨床・病理連携ネットワークの構築	石川 雄一	病理部	500,000	補	厚生労働省
若年乳がん患者のサイバーシップ向上を志向した妊孕性温存に関する心理支援体制の構築	大野 真司	乳腺センター	200,000	補	厚生労働省
腹腔外発生デスマイド腫瘍患者の実態把握および診療ガイドライン確立に向けた研究	阿江 啓介	整形外科	70,000	補	厚生労働省
病理デジタル画像・人工知能技術を用いた、病理画像認識による術中迅速・ダブルチェック・希少がん等病理診断支援ツールの開発	高澤 豊	病理部	2,025,000	補	厚生労働省
癌幹細胞の生物学的特性を加味した新しい大腸癌治療戦略の確立	長山 聡	消化器外科	1,000,000	補	文部科学省
ALK融合遺伝子肺癌におけるゲノム不安定性	二宮 浩範	病理部	1,000,000	補	文部科学省
膵内膵腺癌の個別化医療を目指したゲノムワイドな原因遺伝子・分子標的探索	杉山 裕子	細胞診断部	800,000	補	文部科学省
造血幹細胞移植を受ける患者のQOLと知識、学習性無力感、自己効力感との関係の解明	鈴木 美穂	看護部	850,000	補	文部科学省

計12件

Driver変異不明の肺癌を層別化する試み	石川 雄一	病理部	4,600,000	補	文部科学省
胃消化管間質腫瘍の亜型と悪性度の解明－非コードRNAからのアプローチ	高澤 豊	病理部	1,800,000	補	文部科学省
腫瘍内HER2不均一発現を呈する胃癌のトラスツズマブ耐性機序の分子生物学的解明	若槻 尊	消化器内科	1,300,000	補	文部科学省
全エクソンシーケンスによる直腸癌術前放射線化学療法効果予測遺伝子の同定	秋吉 高志	消化器外科	600,000	補	文部科学省
がん細胞のX線及び炭素イオン線抵抗性における細胞膜修復能に関する研究	佐藤 克俊	遺伝子診療部	200,000	補	文部科学省
仮想X線画像を用いた新しい患者セットアップシステムの開発	橋本 成世	放射線治療部	800,000	補	文部科学省
小腸脂肪酸吸収関連蛋白のNASH病態へ与える影響と治療標的分子の解明	山本 安則	消化器内科	700,199	補	文部科学省
基礎研究解析データに基づく大腸がん新規治療薬のバイオマーカー探索	末永 光邦	消化器化学療法科	1,200,000	補	文部科学省
食道胃接合部腺癌におけるKRAS遺伝子増幅の意義とその悪性化メカニズムの解明	今村 裕	消化器外科	6,600,000	補	文部科学省
放射線治療期間中の患者の体型変化を予測する仮想CBCT画像生成システムの開発	中野 正寛	放射線治療部	1,000,000	補	文部科学省
高感度域でも良好な定量性を示し、普及し易いメチル化DNA解析法の開発	野村 幸男	TR支援部	1,300,000	補	文部科学省
診断・治療への応用を目指した胃癌の層別化－中分化腺癌の病理・分子解析	河内 洋	病理部	1,800,000	補	文部科学省
診断治療戦略に向けた遺伝子型別肺腺癌のmicroRNA・mRNA統合発現解析	稲村 健太郎	病理部	1,500,000	補	文部科学省
腎癌における遺伝子変異・遺伝子発現を基にした治療体系確立への基礎研究	湯浅 健	泌尿器科	1,400,000	補	文部科学省

計14件

胃がん術後補助療法に対する抵抗性を評価するバイオマーカーの開発	重松 康之	病理部	1,500,000	補	文部科学省
肺線維症から肺腺癌の発生機序の解明、特にmiRNAの役割について	松原 修	病理部	600,000	補	文部科学省
肺線維症から肺腺癌の発生機序の解明、特にmiRNAの役割について	石川 雄一	病理部	100,000	補	文部科学省
食道癌新規治療法の確立に向けた食道癌間質ゲノムの網羅的解析	井田 智	消化器外科	800,000	補	文部科学省
食道癌新規治療法の確立に向けた食道癌間質ゲノムの網羅的解析	渡邊 雅之	消化器外科	100,000	補	文部科学省
食道癌新規治療法の確立に向けた食道癌間質ゲノムの網羅的解析	今村 裕	消化器外科	100,000	補	文部科学省
食道扁平上皮癌におけるがん代謝を制御する分子機序の網羅的解析	渡邊 雅之	消化器外科	800,000	補	文部科学省
食道扁平上皮癌におけるがん代謝を制御する分子機序の網羅的解析	今村 裕	消化器外科	100,000	補	文部科学省
直腸癌術前化学放射線療法の効果予測マーカーとしての血清中microRNA解析	日吉 幸晴	消化器外科	1,700,000	補	文部科学省
直腸癌術前化学放射線療法の効果予測マーカーとしての血清中microRNA解析	秋吉 高志	消化器外科	400,000	補	文部科学省
先端モデル動物支援プラットフォーム	神田 浩明	病理部	1,200,000	補	文部科学省
FFT法と領域法を組み合わせたDNA ploidy解析によるがん診断法の研究	神田 浩明	病理部	100,000	補	文部科学省
ヒトパピローマウイルス感染と発がんー臓器横断的解析ー	石川 雄一	病理部	30,000	補	文部科学省
ヒトパピローマウイルス感染と発がんー臓器横断的解析ー	佐藤 由紀子	病理部	100,000	補	文部科学省

計14件

ヒトパピローマウイルス感染と発がんー臓器横断的解析ー	利安 隆史	放射線治療部	50,000	補	文部科学省
ヒトパピローマウイルス感染と発がんー臓器横断的解析ー	新橋 渉	頭頸科	50,000	補	文部科学省
看護師の臨床判断力を強化する 卒後教育プログラムとその評価指標の確立	鈴木 美穂	看護部	50,000	補	文部科学省
地域高齢者を支えるコンビニエンスストア:地域包括ケアにおける協働モデルの構築	鈴木 美穂	看護部	50,000	補	文部科学省
ヘリコバクター属感染と膵がん・胆道がんのリスク	笹平 直樹	肝胆膵内科	300,000	補	文部科学省
患者由来細胞のキノーム解析による標的キナーゼ活性定量法を用いた薬剤耐性機序の解明	西尾 誠人	呼吸器内科	100,000	補	文部科学省
患者由来細胞のキノーム解析による標的キナーゼ活性定量法を用いた薬剤耐性機序の解明	長山 聡	消化器外科	100,000	補	文部科学省
大規模経時採取血漿バンクの網羅的蛋白質変動解析による大腸癌再発予測因子の解明	長山 聡	消化器外科	600,000	補	文部科学省
大腸癌同一症例原発/転移組織を用いたプロテオーム解析による血中転移マーカーの開発	長山 聡	消化器外科	100,000	補	文部科学省
胃粘膜内のmicrobiomeと胃癌の悪性度に関する網羅的解析	井田 智	消化器外科	50,000	補	文部科学省
胃粘膜内のmicrobiomeと胃癌の悪性度に関する網羅的解析	今村 裕	消化器外科	50,000	補	文部科学省
消化器癌幹細胞の特性を制御するmicroRNAの同定と治療への応用	渡邊 雅之	消化器外科	100,000	補	文部科学省
消化器癌幹細胞の特性を制御するmicroRNAの同定と治療への応用	今村 裕	消化器外科	100,000	補	文部科学省
消化器癌におけるエピゲノム関連酵素TETファミリーおよび5-hmCの解析	渡邊 雅之	消化器外科	50,000	補	文部科学省

計14件

食道癌の治療選択に関わるPI3K/AKTpathway関連遺伝子変異の網羅的検索	渡邊 雅之	消化器外科	150,000	補	文部科学省
内臓肥満が大腸癌の進展に与える影響とメカニズムの解析	井田 智	消化器外科	50,000	補	文部科学省
内臓肥満が大腸癌の進展に与える影響とメカニズムの解析	今村 裕	消化器外科	50,000	補	文部科学省
術中超音波ナビゲーションシステムを用いた肝切除手術の開発	三瀬 祥弘	消化器外科	980,000	補	日本学術振興会
ステージⅢ胃癌に対する術前診断の妥当性研究:術前補助化学療法への転換を目指して	大橋 学	消化器外科	11,569,231	委	日本医療研究開発機構
病理学的Stage II/Ⅲで“Vulnerable”な80歳以上の高齢者胃癌に対する開始量を減量したS-1術後補助化学療法に関するランダム化比較第Ⅲ相試験	大橋 学	消化器外科	390,000	委	日本医療研究開発機構
局所進行非扁平上皮非小細胞肺癌に対する至適化学療法に関する検討	西尾誠人	呼吸器内科	692,308	委	日本医療研究開発機構
RET融合遺伝子陽性の進行非小細胞肺癌に対する新規治療薬に関する研究	西尾誠人	呼吸器内科	769,231	委	日本医療研究開発機構
胸腺癌、胸腺腫に対する抗PD-1抗体ニボルマブ適応拡大のための研究	西尾誠人	呼吸器内科	600,000	委	日本医療研究開発機構
高齢者進行非扁平上皮非小細胞肺癌に対する標準的化学療法の確立に関する研究	西尾誠人	呼吸器内科	500,000	委	日本医療研究開発機構
最新のIVRによる症状緩和についての研究	松枝 清	画像診断部	769,231	委	日本医療研究開発機構
放射線治療管理、局所放射線療法法のQA/QC、ISRT標準化	小口正彦	放射線治療部	900,091	委	日本医療研究開発機構
眼部希少がんの発生・多様性獲得機能の「鍵となる」分子・分子経路の特定と、二次がん発生のサーベイランス体性の確率	辻 英貴	眼科	769,231	委	日本医療研究開発機構
眼部腫瘍の全国症例登録システムの構築に関する研究	辻 英貴	眼科	1,000,000	委	日本医療研究開発機構

計14件

切除不能進行・再発胃がんに対する個別化治療と最適化標準療法に関する研究	陳 勁松	消化器化学療法科	500,000	委	日本医療研究 開発機構
外科手術手技の客観的評価と科学的根拠に基づいた標準治療開発のための多施設共同第三相無作為化試験の確立	斎浦明夫	肝胆膵外科	500,000	委	日本医療研究 開発機構
早期子宮頸がんに対する準広汎子宮全摘術の有益性を検証する研究	竹島信宏	婦人科	650,000	委	日本医療研究 開発機構
上皮性卵巣癌の妊孕性温存治療の対象拡大のための非ランダム化検証的試験	竹島信宏	婦人科	1,000,000	委	日本医療研究 開発機構
Adolescent and young adult (AYA)世代に及ぶ骨・軟部肉腫ならびに固形がんに対する妊娠、晩期合併症に考慮した治療プロトコール開発に関する研究	角美奈子	放射線治療部	700,000	委	日本医療研究 開発機構
高悪性度骨軟部腫瘍に対する標準治療確立のための研究	松本誠一	整形外科	330,000	委	日本医療研究 開発機構
切除可能進行胃癌に対する網膜切除の意義に関する研究	布部創也	消化器外科	1,000,000	委	日本医療研究 開発機構
効果判定、PETのQA/QC	寺内隆司	核医学部	1,000,000	委	日本医療研究 開発機構
臨床病期I/II/III食道癌(T4を除く)に対する胸腔鏡下手術と開胸手術のランダム化比較第III相試験	渡邊雅之	消化器外科	640,000	委	日本医療研究 開発機構
食道重全摘術を行う食道癌患者における急性肺合併症に対するOSK-0028の有効性及び安全性の検討(第II相試験)	渡邊雅之	消化器外科	307,693	委	日本医療研究 開発機構
切除不能膵癌に対する標準治療の確立に関する研究	尾阪将人	消化器内科	1,500,000	委	日本医療研究 開発機構
肥満関連癌症例の血液試料分析による肥満関連癌のバイオマーカーの同定	長山 聡	消化器外科	2,000,000	委	日本医療研究 開発機構
バイオバンクの構築と臨床情報データベース化(DNAサンプル及び臨床情報の収集)	長山 聡	消化器外科	17,442,728	委	日本医療研究 開発機構
大腸がん発症リスクの予測を可能とする感受性遺伝子の同定とその応用研究の推進	長山 聡	消化器外科	3,230,770	委	日本医療研究 開発機構

計14件

細胞老化が引き越す恒常性破綻の病態解明とその制御	石川雄一	病理部	5,000,000	委	日本医療研究 開発機構
高悪性度神経内分泌肺癌切除例に対する術後補助化学療法の標準治療確立のための研究	石川雄一	病理部	615,385	委	日本医療研究 開発機構
高度腹膜転移胃癌に対する標準化学療法の確立に関する研究	山口研成	消化器化学療法科	1,000,000	委	日本医療研究 開発機構
トレーサビリティの確保された線源と画像誘導を利用した高線量率小線源治療の標準化と高度化の研究	室伏 景子	放射線治療部	250,000	委	日本医療研究 開発機構
頭頸部腫瘍に対する強度変調放射線治療の確立と標準化のための臨床研究	利安 隆史	放射線治療部	500,000	委	日本医療研究 開発機構
切除不能・術後再発胆道癌に対するFOLFIRINOX療法	笹平 直樹	消化器内科	1,500,000	委	日本医療研究 開発機構
肥満関連肝癌(NASH肝癌)の病理組織解析と病理情報の提供・分析	神田 浩明	病理部	500,000	委	日本医療研究 開発機構
生体多光子励起イメージング技術を利用した新規低侵襲・高解像度がん診断装置の開発	大野 真司	乳腺センター	3,732,440	委	日本医療研究 開発機構
患者に対してセンシティブな内容(性交渉や避妊等)を説明する医療従事者向け教育プログラムの策定に関する研究	島 清彦	血液腫瘍科	153,847	委	日本医療研究 開発機構
切除組織培養分泌エクソソームの網羅的解析によるがん早期診断薬開発	長山 聡	消化器外科	1,800,000	委	日本医療研究 開発機構 (次世代がん)
腸内細胞を指標とした大腸がんの早期診断方法の開発	長山 聡	消化器外科	2,000,000	委	日本医療研究 開発機構 (次世代がん)
がん細胞および免疫応答解析に基づくがん免疫療法効果予測診断法の確立	西尾 誠人	呼吸器内科	51,193,000	委	日本医療研究 開発機構 (次世代がん)
NGS技術を駆使した遺伝学的解析による家族性乳がんの原因遺伝子同定と標準化医療構築	大野 真司	乳腺センター	60,884,616	委	日本医療研究 開発機構 (次世代がん)
ゲノム・エピゲノム統合解析による再発/転移性乳がんの創薬標的の同定	岩瀬 拓士	乳腺外科	11,538,462	委	日本医療研究 開発機構 (次世代がん)

計14件

国立がん研究センター研究開発費【26-A-4】胃がんに対する標準治療確立のための多施設共同研究(飛内班)	布部創也	消化器外科	800,000	委	国立がん研究センター
JCOG試験におけるPET/CTのQA/QCを担保するシステム構築に関する研究・がんPDG-PET/CT撮像法ガイドラインの改訂に関する研究【26-A-4】	寺内隆司	核医学部	2,200,000	委	国立がん研究センター

計2件
合計98件

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入する
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Aoyama, T., Suzuki, K., Tsunoda, T., Kawakami, K., Takiguchi, T., Watanabe, H., Suzuki, W., Sugita, K., Sato, H., Sugiyama, E., Hama, T., Nishio, M.	1. Department of Pharmacy, The Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, 3-8-31 Ariake, Koto-ku, Tokyo 135-8550, Japan. 2. Department of Drug Information, Division of Pharmacokinetics/Pharmacodynamics, School of Pharmacy, Showa University, Tokyo 142-8555, Japan. 3. Department of Thoracic Medical Oncology, The Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, 3-8-31 Ariake, Koto-ku, Tokyo 135-8550, Japan.	Antiemetic effects of granisetron or metoclopramide administered prior to amrubicin monotherapy.	Oncomedicine, 2: 24-27, 2017	Original Article
2	Fujibuchi, T., Matsumoto, S., Shimoji, T., Ae, K., Tanizawa, T., Gokita, T., Hayakawa, K., Motoi, N.	Department of Orthopaedic Oncology, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, 3-8-31 Ariake, Koto, Tokyo 135-8550, Japan. Department of Orthopaedic Oncology, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, 3-8-31 Ariake, Koto, Tokyo 135-8550, Japan. Division of Pathology, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, 3-8-31 Ariake, Koto, Tokyo 135-8550, Japan.	Two-stage surgery on pregnant woman with a giant cell tumor of bone who refused blood transfusion: A case report.	J. Orthop. Sci., 22 (1): 169-172, 2017	Case report
3	Hiyoshi, Y., Akiyoshi, T., Inoue, R., Murofushi, K., Yamamoto, N., Fukunaga, Y., Ueno, M., Baba, H., Mori, S., Yamaguchi, T.	Gastroenterological Center, Department of Gastroenterological Surgery, The Cancer Institute Hospital of Japanese Foundation for Cancer Research, Japan. Clinical Research Center, The Cancer Institute Hospital of Japanese Foundation for Cancer Research, Japan. Department of Radiation Oncology, The Cancer Institute Hospital of Japanese Foundation for Cancer Research, Japan. Division of Pathology, The Cancer Institute Hospital of Japanese Foundation for Cancer Research, Japan. Department of Gastroenterological Surgery, Graduate School of Medical Sciences, Kumamoto University, Japan. Division of Cancer Genomics, The Cancer Institute Hospital of Japanese Foundation for Cancer Research, Japan.	Serum miR-143 levels predict the pathological response to neoadjuvant chemoradiotherapy in patients with locally advanced rectal cancer.	Oncotarget: 8:79201-79211 2017	Original Article
4	Ichida, H., Ishizawa, T., Tanaka, M., Terasawa, M., Watanabe, G., Takeda, Y., Matsuki, R., Matsumura, M., Hata, T., Mise, Y., Inoue, Y., Takahashi, Y., Saiura, A.	Department of Gastroenterological Surgery, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, 3-8-31 Ariake, Koto-ku, Tokyo, 135-8550, Japan. Department of Gastroenterological Surgery, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, 3-8-31 Ariake, Koto-ku, Tokyo, 135-8550, Japan. tish-ty@umin.ac.jp.	Use of intercostal trocars for laparoscopic resection of subphrenic hepatic tumors.	Surg. Endosc., 31 (3): 1280-1286, 2017	Original Article

計4件

5	<p>Ida, S., Hiki, N., Cho, H., Sakamaki, K., Ito, S., Fujitani, K., Takiguchi, N., Kawashima, Y., Nishikawa, K., Sasako, M., Aoyama, T., Honda, M., Sato, T., Nunobe, S., Yoshikawa, T.</p>	<p>Department of Gastroenterological Surgery, Cancer Institute Hospital of Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan. Department of Gastrointestinal Surgery, Kanagawa Cancer Centre, Yokohama, Japan. Department of Biostatistics and Epidemiology, Yokohama City University Medical Centre, Yokohama, Japan. Department of Gastroenterological Surgery, Aichi Cancer Centre, Nagoya, Japan. Departments of Surgery, Osaka General Medical Centre, Osaka, Japan. Division of Gastroenterological Surgery, Chiba Cancer Centre, Chiba, Japan. Division of Gastroenterological Surgery, Saitama Cancer Centre, Saitama, Japan. Departments of Surgery, Osaka Medical Centre, Osaka, Japan. Department of Surgery, Hyogo College of Medicine, Nishinomiya, Japan.</p>	<p>Randomized clinical trial comparing standard diet with perioperative oral immunonutrition in total gastrectomy for gastric cancer.</p>	<p>Br. J. Surg., 104 (4): 377-383, 2017</p>	<p>Original Article</p>
6	<p>Ishiura, R., Matsumoto, A., Shiozaki, M., Miyashita, H., Sawaizumi, M.</p>	<p>Department of Plastic and Reconstructive Surgery, The Cancer Institute Hospital of JFCR, Koto, Tokyo 135-8550, Japan.</p>	<p>Thunderbolt technique: Novel hemostatic technique for hemorrhage related to venous infusion catheter drains.</p>	<p>Plast. Reconstr. Surg. Glob. Open, 5 (1): e1196, 2017</p>	<p>Original Article</p>
7	<p>Kiyokawa, T., Hiki, N., Nunobe, S., Honda, M., Ohashi, M., Sano, T.</p>	<p>Department of Gastroenterological Surgery, Gastroenterological Center, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, 3-10-6 Ariake, Koto-ku, Tokyo, 135-8550, Japan. Department of Gastroenterological Surgery, Gastroenterological Center, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, 3-10-6 Ariake, Koto-ku, Tokyo, 135-8550, Japan.</p>	<p>Preserving infrapyloric vein reduces postoperative gastric stasis after laparoscopic pylorus-preserving gastrectomy.</p>	<p>Langenbecks Arch. Surg., 402 (1): 49-56, 2017</p>	<p>Original Article</p>
8	<p>Matsumoto, A., Watanabe, M., Mine, S., Nishida, K., Shigaki, H., Kawabata, K., Yanaga, K., Sano, T.</p>	<p>Department of Gastroenterological Surgery, Cancer Institute Hospital of Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan. Department of Head and Neck, Cancer Institute Hospital of Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan. Department of Surgery, Jikei University School of Medicine, Tokyo, Japan.</p>	<p>Comparison of synchronous versus staged surgeries for patients with synchronous double cancers of the esophagus and head-and-neck.</p>	<p>Dis. Esophagus, 30 (1): 1-6, 2017</p>	<p>Original Article</p>
9	<p>Mine, S., Watanabe, M., Imamura, Y., Okamura, A., Kuroguchi, T., Sano, T.</p>	<p>Department of Gastroenterological Surgery, Cancer Institute Hospital, 3-8-31, Ariake, Koto-ku, Tokyo, 135-8550, Japan. Department of Esophageal and Gastroenterological Surgery, Juntendo University School of Medicine, 2-1-1, Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo, 113-8421, Japan. Department of Gastroenterological Surgery, Cancer Institute Hospital, 3-8-31, Ariake, Koto-ku, Tokyo, 135-8550, Japan.</p>	<p>Clinical significance of the pre-therapeutic nodal size in patients undergoing neo-adjuvant treatment followed by esophagectomy for esophageal squamous cell carcinoma.</p>	<p>World J. Surg., 41 (1): 184-190, 2017</p>	<p>Original Article</p>
10	<p>Mori, S., Uehara, H., Motoi, N., Okumura, S.</p>	<p>Department of Thoracic Surgical Oncology, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, 3-8-31, Ariake, Koto, Tokyo, 135-8550, Japan. Department of Thoracic Surgical Oncology, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, 3-8-31, Ariake, Koto, Tokyo, 135-8550, Japan. Department of Pathology, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan.</p>	<p>Pulmonary artery sarcoma presenting as an isolated lung mass.</p>	<p>Gen. Thorac. Cardiovasc. Surg., 65 (3): 171-4, 2017</p>	<p>Case report</p>

11	Nagasaki, T., Akiyoshi, T., Fujimoto, Y., Konishi, T., Nagayama, S., Fukunaga, Y., Ueno, M.	Department of Gastroenterological Surgery, Gastroenterological Center, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, 3-8-31 Ariake, Koto-ku, Tokyo, 135-8550, Japan. Department of Gastroenterological Surgery, Gastroenterological Center, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, 3-8-31 Ariake, Koto-ku, Tokyo, 135-8550, Japan.	Preoperative chemoradiotherapy might improve the prognosis of patients with locally advanced low rectal cancer and lateral pelvic lymph node metastases.	World J. Surg., 41 (3): 876-883, 2017	Original Article
12	Ogura, A., Akiyoshi, T., Nagasaki, T., Konishi, T., Fujimoto, Y., Nagayama, S., Fukunaga, Y., Ueno, M., Kuroyanagi, H.	Department of Gastroenterological Surgery, The Cancer Institute Hospital of Japanese Foundation for Cancer Research, 3-8-31, Ariake, Koto-ku, Tokyo, 135-8550, Japan. Department of Gastroenterological Surgery, The Cancer Institute Hospital of Japanese Foundation for Cancer Research, 3-8-31, Ariake, Koto-ku, Tokyo, 135-8550, Japan. Department of Gastroenterological Surgery, Toranomon Hospital, Tokyo, 135-8550, Japan.	Feasibility of laparoscopic total mesorectal excision with extended lateral pelvic lymph node dissection for advanced lower rectal cancer after preoperative chemoradiotherapy.	World J. Surg., 41 (3): 868-875, 2017	Original Article
13	Ogura, A., Akiyoshi, T., Yamamoto, N., Kawachi, H., Ishikawa, Y., Noma, H., Nagino, M., Fukunaga, Y., Ueno, M.	Department of Gastroenterological Surgery, The Cancer Institute Hospital of the Japanese Foundation for Cancer Research, 3-8-31, Ariake, Koto-ku, Tokyo, 135-8550, Japan. Division of Surgical Oncology, Department of Surgery, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan. Department of Gastroenterological Surgery, The Cancer Institute Hospital of the Japanese Foundation for Cancer Research, 3-8-31, Ariake, Koto-ku, Tokyo, 135-8550, Japan. takashi.akiyoshi@jcr.or.jp. Division of Pathology, The Cancer Institute Hospital of the Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan. Department of Data Science, The Institute of Statistical Mathematics, Tokyo, Japan.	Does the depth of mesorectal invasion have prognostic significance in patients with ypT3 lower rectal cancer treated with preoperative chemoradiotherapy?	Int. J. Colorectal Dis., 32 (3): 349-356, 2017	Original Article
14	Okamura, A., Watanabe, M., Imamura, Y., Kamiya, S., Yamashita, K., Kuroguchi, T., Mine, S.	Department of Gastroenterological Surgery, The Cancer Institute Hospital of Japanese Foundation for Cancer Research, 3-8-31 Ariake, Koto-ku, Tokyo, 135-8550, Japan. Department of Gastroenterological Surgery, The Cancer Institute Hospital of Japanese Foundation for Cancer Research, 3-8-31 Ariake, Koto-ku, Tokyo, 135-8550, Japan.	Preoperative glycosylated hemoglobin levels predict anastomotic leak after esophagectomy with cervical esophagogastric anastomosis.	World J. Surg., 41 (1): 200-207, 2017	Original Article
15	Sano, T.	Gastroenterological Center, The Cancer Institute Hospital, Tokyo, Japan.	Gastric cancer: Asia and the world.	Gastric Cancer, 20 (Suppl 1): 1-2, 2017	Review
16	Sano, T., Sasako, M., Mizusawa, J., Yamamoto, S., Katai, H., Yoshikawa, T., Nashimoto, A., Ito, S., Kaji, M., Imamura, H., Fukushima, N., Fujitani, K.	Department of Surgery, Cancer Institute Hospital, Tokyo, Japan daggerDepartment of Surgery, Hyogo College of Medicine, Hyogo, Japan double daggerJapan Clinical Oncology Group Data Center, National Cancer Center, Tokyo, Japan section signDepartment of Gastric Surgery, National Cancer Center Hospital, Tokyo, Japan paragraph signDepartment of Gastrointestinal Surgery, Kanagawa Cancer Center, Yokohama, Japan Department of Surgery, Niigata Cancer Center Hospital, Niigata, Japan Department of Gastroenterological Surgery, Aichi Cancer Center, Nagoya, Japan daggerdaggerDepartment of Surgery, Toyama Prefectural Central Hospital, Toyama City, Japan double daggerdouble daggerDepartment of Surgery, Sakai City Medical Center, Sakai, Japan section sign section signDepartment of Surgery, Yamagata Prefectural Central Hospital, Yamagata, Japan paragraph sign paragraph signDepartment of Surgery, Osaka National Hospital, Osaka, Japan.	Randomized controlled trial to evaluate splenectomy in total gastrectomy for proximal gastric carcinoma.	Ann. Surg., 265 (2): 277-283, 2017	Original Article

17	Takahashi, S., Kobayashi, T., Tomomatsu, J., Ito, Y., Oda, H., Kajitani, T., Kakizume, T., Tajima, T., Takeuchi, H., Maacke, H., Esaki, T.	Department of Medical Oncology, The Cancer Institute Hospital of Japanese Foundation for Cancer Research, 3-8-31 Ariake, Koto-ku, Tokyo, 135-8550, Japan. Department of Medical Oncology, The Cancer Institute Hospital of Japanese Foundation for Cancer Research, 3-8-31 Ariake, Koto-ku, Tokyo, 135-8550, Japan. Department of Breast Medical Oncology, The Cancer Institute Hospital of Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan. Department of Gastrointestinal and Medical Oncology, National Hospital Organization Kyushu Cancer Center, Fukuoka, Japan. Saiseikai Fukuoka General Hospital, Fukuoka, Japan. Novartis Pharma K.K., Tokyo, Japan.	LJM716 in Japanese patients with head and neck squamous cell carcinoma or HER2-overexpressing breast or gastric cancer.	Cancer Chemother. Pharmacol., 79 (1): 131-138, 2017	Original Article
18	Takatsu, Y., Fukunaga, Y., Nagasaki, T., Akiyoshi, T., Konishi, T., Fujimoto, Y., Nagayama, S., Ueno, M.	Department of Gastroenterological Surgery, Gastroenterological Center, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan.	Short- and long-term outcomes of laparoscopic total mesenteric excision for neuroendocrine tumors of the rectum.	Dis. Colon. Rectum, 60 (3): 284-289, 2017	Original Article
19	Yoshio, T., Tsuchida, T., Ishiyama, A., Omae, M., Hirasawa, T., Yamamoto, Y., Fujisaki, J., Sato, Y., Sasaki, T., Kawabata, K., Igarashi, M.	Department of Gastroenterology, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan. Department of Gastroenterology, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan. Department of Pathology, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan. Department of Head and Neck, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan.	Efficacy of double-scope endoscopic submucosal dissection and long-term outcomes of endoscopic resection for superficial pharyngeal cancer.	Dig. Endosc., 29 (2): 152-159, 2017	Original Article
20	Zhou, J., Hiki, N., Mine, S., Kumagai, K., Ida, S., Jiang, X., Nunobe, S., Ohashi, M., Sano, T., Yamaguchi, T.	Department of Gastroenterological Surgery, Cancer Institute Hospital, Gastroenterological Center, Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan. Department of General Surgery, The First Affiliated Hospital of Soochow University, Suzhou, China. Department of Gastroenterological Surgery, Cancer Institute Hospital, Gastroenterological Center, Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan. Department of Gastroenterological Surgery, Shanghai East Hospital, Tongji University School of Medicine, Shanghai, China.	Role of prealbumin as a powerful and simple index for predicting postoperative complications after gastric cancer surgery.	Ann. Surg. Oncol., 24 (2): 510-517, 2017	Original Article
21	Akaike, G., Ueno, T., Matsumoto, S., Motoi, N., Matsueda, K.	Diagnostic Imaging Center, Cancer Institute Hospital of Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan. Department of Radiology, St. Luke's International Hospital, Tokyo, Japan. Diagnostic Imaging Center, Cancer Institute Hospital of Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan. Department of Orthopedic Oncology, Cancer Institute Hospital of Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan. Division of Pathology, The Cancer Institute, Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan. Department of Pathology, Cancer Institute Hospital of Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan.	Rapidly growing giant cell tumor of bone in a skeletally immature girl.	Skeletal Radiol., 45 (4): 567-73, 2016	Original Article
22	Chino, A., Osumi, H., Kishihara, T., Morishige, K., Ishikawa, H., Tamegai, Y., Igarashi, M.	Division of Gastroenterology, Cancer Institute Hospital of Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, JAPAN.	Advantages of magnifying narrow-band imaging (NBI) for diagnosing the colorectal cancer coexisting with sessile serrated adenoma/polyp (SSA/P).	Dig. Endosc., 28 (Suppl.1): 53-59, 2016	Original Article

23	Fukada, I., Araki, K., Kobayashi, K., Kobayashi, T., Horii, R., Akiyama, F., Takahashi, S., Iwase, T. , Ito, Y.	Department of Breast Medical Oncology, Breast Oncology Center, The Cancer Institute Hospital of The Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo 135-8550, Japan. Department of Medical Oncology, The Cancer Institute Hospital of The Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo 135-8550, Japan. Department of Pathology, The Cancer Institute Hospital of The Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo 135-8550, Japan. Breast Surgical Oncology, Breast Oncology Center, The Cancer Institute Hospital of The Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo 135-8550, Japan.	Therapeutic effect of taxanes on metastatic breast cancer of various immunohistochemical subtypes.	Oncol. Lett., 12 (1): 663-669, 2016	Original Article
24	Fukada, I., Araki, K., Kobayashi, K., Shibayama, T., Hatano, M., Takahashi, S., Iwase, T., Ohno, S. , Ito, Y.	Breast Medical Oncology, Breast Oncology Center, The Cancer Institute Hospital of the Japanese Foundation for Cancer Research, 3-8-31, Ariake, Koto-ku, Tokyo, 135-8550 Japan. Cardiovascular Medicine, The University of Tokyo Hospital, Tokyo, Japan. Medical Oncology, The Cancer Institute Hospital of the Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan. Breast Surgical Oncology, Breast Oncology Center, The Cancer Institute Hospital of the Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan. Breast Oncology Center, The Cancer Institute Hospital of the Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan. Breast Oncology Center, The Cancer Institute Hospital of the Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan.	Imatinib could be a new strategy for pulmonary hypertension caused by pulmonary tumor thrombotic microangiopathy in metastatic breast cancer.	Springerplus, 5 (1): 1582, 2016	Original Article
25	Fukada, I., Araki, K., Kobayashi, K., Shibayama, T., Takahashi, S., Horii, R., Akiyama, F., Iwase, T., Ohno, S., Hatake, K., Hozumi, Y., Sata, N. , Ito, Y.	Breast Medical Oncology, Breast Oncology Center, the Cancer Institute Hospital of the Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan. Medical Oncology, the Cancer Institute Hospital of the Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan. Division of Pathology, the Cancer Institute Hospital of the Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan. Division of Pathology, the Cancer Institute of the Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan. Breast Surgical Oncology, Breast Oncology Center, the Cancer Institute Hospital of the Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan. Breast Oncology Center, the Cancer Institute Hospital of the Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan. Department of Hematology and Oncology, the Cancer Institute Hospital of the Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan. Department of Surgery, Ibaraki Prefectural Central Hospital, Ibaraki, Japan. Department of Gastrointestinal Surgery, Jichi Medical University, Tochigi, Japan.	Predictive factors and value of ypN+ after neoadjuvant chemotherapy in clinically lymph node-negative breast cancer.	PLoS One, 11 (9): e0162616, 2016	Original Article
26	Harada, A., Oguchi, M., Terui, Y., Takeuchi, K., Igarashi, M., Kozuka, T., Harada, K., Uno, T. , Hatake, K.	Radiation Oncology Department, The Cancer Institute Hospital of Japanese Foundation for Cancer Research, 3-8-31, Ariake, Kouto-ku, Tokyo 135-8550, Japan. Radiation Oncology Department, The Cancer Institute Hospital of Japanese Foundation for Cancer Research, 3-8-31, Ariake, Kouto-ku, Tokyo 135-8550, Japan. Hematology Oncology Department, The Cancer Institute Hospital of Japanese Foundation for Cancer Research, 3-8-31, Ariake, Kouto-ku, Tokyo 135-8550, Japan. Pathology Department, The Cancer Institute Hospital of Japanese Foundation for Cancer Research, 3-8-31, Ariake, Kouto-ku, Tokyo 135-8550, Japan. Endoscopy Department, The Cancer Institute Hospital of Japanese Foundation for Cancer Research, 3-8-31, Ariake, Kouto-ku, Tokyo 135-8550, Japan. Department of Radiation Oncology, National Cancer Center Hospital, Tokyo, Japan. Department of Radiation Oncology, Chiba University Graduate School of Medicine, Chiba, Japan.	Radiation therapy for localized duodenal low-grade follicular lymphoma.	J. Radiat. Res., 57 (5): 412-417, 2016	Original Article
27	Harada, K., Mine, S., Yamada, K., Shigaki, H., Oya, S., Baba, H. , Watanabe, M.	Department of Gastroenterological Surgery, Cancer Institute Hospital, Tokyo, Japan; Department of Gastroenterological Surgery, Graduate School of Medical Science, Kumamoto University, Kumamoto, Japan.	Long-term outcome of esophagectomy for primary malignant melanoma of the esophagus: a single-institute retrospective analysis.	Dis. Esophagus, 29 (4): 314-9, 2016	Original Article

28	Hashimoto, M., Ito, Y., Takahashi, R., Nakajima, M., Matsubayashi, F., Saotome, S., Kitamura, N., Sato, T., Kozuka, T., Oguchi, M.	The Cancer Institute Hospital of Japanese Foundation for Cancer Research (JFCR), Tokyo 135-8550, Japan	Four-dimensional dose reconstruction for lung cancer in volumetric modulated arc therapy.	Int. J. Radiat. Oncol. Biol. Phys., 96 (2S): E611, 2016	Others
29	Hayakawa, K., Matsumoto, S., Ae, K., Tanizawa, T., Gokita, T., Funauchi, Y., Motoi, N.	Department of Orthopedic Oncology, Cancer Institute Hospital of the Japanese Foundation for Cancer Research, 3-8-31, Ariake, Koto-ku, Tokyo, 135-8550, Japan. hayakawakeiko@mac.com.Department of Orthopedic Oncology, Cancer Institute Hospital of the Japanese Foundation for Cancer Research, 3- 8-31, Ariake, Koto-ku, Tokyo, 135-8550, Japan.Department of Pathology, Cancer Institute Hospital of the Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan.Division of Pathology, The Cancer Institute, The Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan.	Risk factors for distant metastasis of dermatofibrosarcoma protuberans.	J. Orthop. Traumatol., 17 (3): 261-6, 2016	Original Article
30	Hirasawa, T., Uchita, K., Yano, T.	Department of Gastroenterology, Cancer Institute Hospital of the Japanese Foundation of Cancer Research, Tokyo, Japan. Department of Gastroenterology, Kochi Red Cross Hospital, Kochi, Japan. Department of Gastroenterology, Endoscopy division, National Cancer Center Hospital East, Chiba, Japan.	How many pictures are demanded for screening gastroscopy?	Dig. Endosc., 28 (Suppl.1): 33-34, 2016	Case report
31	Honda, M., Hiki, N., Kinoshita, T., Yabusaki, H., Abe, T., Nunobe, S., Terada, M., Matsuki, A., Sunagawa, H., Aizawa, M., Healy, M. A., Iwasaki, M., Furukawa, T. A.	Department of Gastroenterological Surgery, Gastroenterological Center, Cancer Institute Hospital of Japanese Foundation for Cancer Research, TokyoDepartment of Surgical Oncology, National Cancer Center Hospital East, ChibaDepartment of Digestive Surgery, Niigata Cancer Center Hospital, Niigata Department of Preventive Medicine and Public Health, Biostatistics at Center for Clinical Research, Keio University School of Medicine, Tokyo paragraph signDepartment of Surgery, Center for Healthcare Outcomes and Policy, University of Michigan, Ann Arbor, MI Department of Computer and Information Science, Seikei University Faculty of Science and Technology, Tokyo Department of Health Promotion and Human Behavior, Kyoto University Graduate School of Medicine/School of Public Health, Kyoto.	Long-term outcomes of laparoscopic versus open surgery for clinical stage I gastric cancer: The LOC-1 study.	Ann. Surg., 264 (2): 214- 22, 2016	Original Article
32	Honda, M., Hiki, N., Nunobe, S., Ohashi, M., Mine, S., Watanabe, M., Kamiya, S., Irina, T., Sano, T., Yamaguchi, T.	Department of Gastroenterological Surgery, Gastroenterological Center, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, 3-10-6 Ariake, Koto-ku, Tokyo, 135-8550, Japan. Department of Gastroenterological Surgery, Gastroenterological Center, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, 3-10-6 Ariake, Koto-ku, Tokyo, 135-8550, Japan.	Unplanned admission after gastrectomy as a consequence of fast- track surgery: a comparative risk analysis.	Gastric Cancer, 19 (3): 1002-7, 2016	Original Article

計5件

33	Horii, R., Honma, N., Ogiya, A., Kozuka, Y., Yoshida, K., Yoshida, M., Horiguchi, S. I, Ito, Y. , Mukai, H.	Department of Pathology, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, 3-8-31 Ariake, Koto-ku, Tokyo, 135-8550, Japan. Department of Pathology, School of Medicine, Toho University, Tokyo, Japan. Breast Surgical Oncology, Breast Oncology Center, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan. Department of Pathology, Mie University Hospital, Mie, Japan. Breast Center, Northern Fukushima Medical Center, Fukushima, Japan. Department of Pathology, National Cancer Center Hospital, Tokyo, Japan. Department of Pathology, Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Disease Center Komagome Hospital, Tokyo, Japan. Breast Medical Oncology, Breast Oncology Center, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan. Department of Breast and Medical Oncology, National Cancer Center Hospital East, Chiba, Japan.	The Japanese Breast Cancer Society clinical practice guidelines for pathological diagnosis of breast cancer, 2015 edition.	Breast Cancer, 23 (3): 391-399, 2016	Review
34	Horiuchi, Y., Fujisaki, J., Yamamoto, N., Shimizu, T., Miyamoto, Y., Tomida, H., Omae, M., Ishiyama, A., Yoshio, T., Hirasawa, T., Yamamoto, Y., Tsuchida, T., Igarashi, M. , Takahashi, H.	Department of Gastroenterology, Cancer Institute Hospital, 3-10-6 Ariake, Koto-ku, Tokyo, 135-8550, Japan,	Accuracy of diagnostic demarcation of undifferentiated-type early gastric cancers for magnifying endoscopy with narrow-band imaging: endoscopic submucosal dissection cases.	Gastric Cancer, 19 (2): 515-23, 2016	Original Article
35	Ichimura, T., Abe, H., Morikawa, T., Yamashita, H., Ishikawa, S., Ushiku, T., Seto, Y. , Fukayama, M.	Department of Chemotherapy, Gastroenterology Center, Gastroenterological Internal Medicine, the Cancer Institute Hospital of JFCR (Japanese Foundation for Cancer Research), Tokyo 135-8550, Japan; Department of Pathology, Graduate School of Medicine, The University of Tokyo, Tokyo 113-0033, Japan. Department of Pathology, Graduate School of Medicine, The University of Tokyo, Tokyo 113-0033, Japan. Department of Gastroenterological Surgery, Graduate School of Medicine, The University of Tokyo, Tokyo 113-8654, Japan. Department of Genomic Pathology, Medical Research Institute, Tokyo Medical and Dental University, Tokyo 113-0034, Japan. Department of Pathology, Graduate School of Medicine, The University of Tokyo, Tokyo 113-0033, Japan.	Low density of CD204-positive M2-type tumor-associated macrophages in Epstein-Barr virus-associated gastric cancer: a clinicopathologic study with digital image analysis.	Hum. Pathol., 56: 74-80, 2016	Original Article
36	Ikeda, A., Konishi, T., Ueno, M., Fukunaga, Y., Nagayama, S., Fujimoto, Y., Akiyoshi, T. , Yamaguchi, T.	Department of Gastroenterological Surgery, Cancer Institute Hospital of the Japanese Foundation for Cancer Research, 3-8-31 Ariake, Koto-ku, Tokyo, 135-8550, Japan.	Randomized clinical trial of oral and intravenous versus intravenous antibiotic prophylaxis for laparoscopic colorectal resection.	Br. J. Surg., 103 (12): 1608-15, 2016	Original Article
37	Inoue, Y., Saiura, A., Sato, T., Ishizawa, T., Arita, J., Takahashi, Y., Hiki, N., Sano, T. , Yamaguchi, T.	Department of Gastrointestinal Surgery, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, 3-8-31 Ariake, Koto-ku, Tokyo, 135-8550, Japan. Department of Gastrointestinal Surgery, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, 3-8-31 Ariake, Koto-ku, Tokyo, 135-8550, Japan. Department of Gastroenterological Surgery, Nagoya City University, Nagoya, Japan. Division of Hepato-Biliary-Pancreatic Surgery, Department of Surgery, Graduate School of Medicine, The University of Tokyo, Tokyo, Japan.	Laparoscopic pancreatoduodenectomy combined with a novel self-assessment system and feedback discussion: a phase 1 surgical trial following the IDEAL guidelines.	Langenbecks Arch. Surg., 401 (8): 1123-30, 2016	Original Article

38	Inoue, Y., Saiura, A., Tanaka, M., Matsumura, M., Takeda, Y., Mise, Y., Ishizawa, T., Takahashi, Y.	Department of Gastroenterological Surgery, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, 3-8-31 Ariake, Koto-ku, Tokyo, 135-8550, Japan. Department of Gastroenterological Surgery, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, 3-8-31 Ariake, Koto-ku, Tokyo, 135-8550, Japan.	Technical details of an anterior approach to the superior mesenteric artery during pancreaticoduodenectomy.	J. Gastrointest. Surg, 20 (10): 1769-77, 2016	Original Article
39	Irino, T., Hiki, N., Ohashi, M., Nunobe, S., Tokunaga, M., Sano, T., Yamaguchi, T.	Department of Gastroenterological Surgery, Cancer Institute Hospital, Koto-ku, Tokyo, Japan. Department of Gastroenterological Surgery, Cancer Institute Hospital, Koto-ku, Tokyo, Japan. Electronic address: naoki.hiki@jfc.or.jp. Division of Gastric Surgery, Shizuoka Cancer Center, Nagaizumi-cho, Sunto-gun, Shizuoka, Japan.	Characteristics of gastric stump cancer: A single hospital retrospective analysis of 262 patients.	Surgery, 159 (6): 1539-47, 2016	Original Article
40	Ishida, N., Araki, K., Sakai, T., Kobayashi, K., Kobayashi, T., Fukada, I., Hosoda, M., Yamamoto, M., Ichinokawa, K., Takahashi, S., Iwase, T., Ito, Y., Yamashita, H.	(Ishida, N. 1&2)1.Breast Surgery, Hokkaido University Hospital, Kita 14, Nishi 5, Kita-ku, Sapporo, 060-8648, Japan. 2.Breast Medical Oncology, Cancer Institute Hospital of the Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan.	Fulvestrant 500 mg in postmenopausal patients with metastatic breast cancer: the initial clinical experience.	Breast Cancer, 23 (4): 617-623, 2016	Original Article
41	Ishizawa, T., Saiura, A., Kokudo, N.	Department of Gastroenterological Surgery, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, Ariake, Japan; Hepato-Biliary-Pancreatic Surgery Division, Department of Surgery, Graduate School of Medicine, The University of Tokyo, Tokyo, Japan.Department of Gastroenterological Surgery, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, Ariake, Japan ;Hepato-Biliary-Pancreatic Surgery Division, Department of Surgery, Graduate School of Medicine, The University of Tokyo, Tokyo, Japan.	Clinical application of indocyanine green-fluorescence imaging during hepatectomy.	Hepatobiliary Surg. Nutr., 5 (4): 322-8, 2016	Review
42	Kataoka, A., Iwamoto, T., Tokunaga, E., Tomotaki, A., Kumamaru, H., Miyata, H., Niikura, N., Kawai, M., Anan, K., Hayashi, N., Masuda, S., Tsugawa, K., Aogi, K., Ishida, T., Masuoka, H., Iijima, K., Kinoshita, T., Nakamura, S., Tokuda, Y.	Breast Surgical Oncology Department, Cancer Institute Hospital of Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan. Department of Breast and Endocrine Surgery, Okayama University Hospital, 2-5-1 Shikata-cho, Kitaku, Okayama City, Okayama, 700-8558, Japan.Department of Breast Oncology, National Hospital Organization Kyushu Cancer Center, Fukuoka, Japan.Department of Healthcare Quality Assessment, Graduate School of Medicine, Tokyo University, Tokyo, Japan.Department of Breast and Endocrine Surgery, Tokai University School of Medicine, Kanagawa, Japan.Department of Breast Surgery, Miyagi Cancer Center, Natori, Japan.Department of Surgery, Kitakyushu Municipal Medical Center, Kitakyushu, Japan.Department of Breast Surgery, St. Luke's International Hospital, Tokyo, Japan.Department of Pathology, Nihon University School of Medicine, Tokyo, Japan.Division of Breast and Endocrine Surgery, Department of Surgery, St. Marianna University School of Medicine, Kawasaki, Japan.Department of Breast Surgery, Shikoku Cancer Center, Matsuyama, Japan.Department of Surgical Oncology, Graduate School of Medicine, Tohoku University, Sendai, Japan.Sapporo-kotoni Breast Clinic, Sapporo, Japan.Department of Breast Oncology, Juntendo University School of Medicine, Tokyo, Japan.Department of Breast Surgery, National Cancer Center Hospital, Tokyo, Japan.Division of Breast Surgical Oncology, Department of Surgery, Showa University, Tokyo, Japan.	Young adult breast cancer patients have a poor prognosis independent of prognostic clinicopathological factors: a study from the Japanese Breast Cancer Registry.	Breast Cancer Res. Treat., 160 (1): 163-172, 2016	Original Article

43	Kato, K., Nomura, H., Nagashima, M., Takekuma, N.	Department of Gynecology, Cancer Institute Hospital, 3-8-31 Ariake, Koutou-ku, Tokyo 135-8550, Japan. Department of Gynecology, Cancer Institute Hospital, 3-8-31 Ariake, Koutou-ku, Tokyo 135-8550, Japan.	Secondary debulking surgery for isolated pelvic nodal recurrence requiring external iliac vein excision and reconstruction in a patient with ovarian cancer.	Gynecol. Oncol., 143 (3): 684-5, 2016	Original Article
44	Kobayashi, K., Ito, Y., Matsuura, M., Fukada, I., Horii, R., Takahashi, S., Akiyama, F., Iwase, T., Hozumi, Y., Yasuda, Y., Hatake, K.	Department of Breast Medical Oncology, The Cancer Institute Hospital of the Japanese Foundation for Cancer Research, 3-8-31, Ariake, Koto-ku, Tokyo, 135-8550, Japan. Department of Breast Medical Oncology, The Cancer Institute Hospital of the Japanese Foundation for Cancer Research, 3-8-31, Ariake, Koto-ku, Tokyo, 135-8550, Japan. Division of Cancer Genomics, Cancer Institute of Japanese Foundation for Cancer Research, and Bioinformatics Group, Genome Center of Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan. Department of Pathology, The Cancer Institute Hospital of the Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan. Department of Pathology, The Cancer Institute of the Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan. Department of Breast Surgical Oncology, The Cancer Institute Hospital of the Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan. Department of Breast Oncology, Jichi Medical University, Shimotsuke, Japan. Department of Gastrointestinal Surgery, Jichi Medical University, Shimotsuke, Japan. Department of Hematology and Oncology, The Cancer Institute Hospital of the Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan.	Impact of immunohistological subtypes on the long-term prognosis of patients with metastatic breast cancer.	Surg. Today, 47 (7): 821-6, 2016	Original Article
45	Kobayashi, T., Tomomatsu, J., Fukada, I., Shibayama, T., Teruya, N., Ito, Y., Iwase, T., Ohno, S., Takahashi, S.	Department of Medical oncology, Cancer Institute Hospital, 3-8-31 Ariake, Koto-ku, Tokyo, 135-8550, Japan. Department of Medical oncology, Cancer Institute Hospital, 3-8-31 Ariake, Koto-ku, Tokyo, 135-8550, Japan. Department of Breast Medical Oncology, Cancer Institute Hospital, 3-8-31 Ariake, Koto-ku, Tokyo, 135-8550, Japan. Department of Surgical Oncology, Breast Oncology Center, Cancer Institute Hospital, 3-8-31 Ariake, Koto-ku, Tokyo, 135-8550, Japan.	Eribulin-induced liver dysfunction as a prognostic indicator of survival of metastatic breast cancer patients: a retrospective study.	BMC Cancer, 16: 404, 2016	Original Article
46	Koizumi, M., Koyama, M., Terauchi, T., Motegi, K., Fukai, S., Umeda, T., Miyaji, N., Makino, T.	Department of Nuclear Medicine, Cancer Institute Hospital, 3-8-31 Ariake, Koto-ku, Tokyo 135-8550, Japan	Reappraisal of bone scintigraphy and computed tomography data in patients with metastatic prostate cancer: Initial appearance of bone metastasis between the staging and follow-up periods.	Remedy Open Access:1:1003 2016	Original Article
47	Konishi, T., Ishida, H., Ueno, H., Kobayashi, H., Hinoi, T., Inoue, Y., Ishida, F., Kanemitsu, Y., Yamaguchi, T., Tomita, N., Matsubara, N., Watanabe, T., Sugihara, K.	Department of Gastroenterological Surgery, Gastroenterological Center, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, 3-8-31 Ariake, Koto-ku, Tokyo, 135-8550, Japan. Study Group for Familial Adenomatous Polyposis in the Japanese Society for Cancer of the Colon and Rectum, Tokyo, Japan. Study Group for Familial Adenomatous Polyposis in the Japanese Society for Cancer of the Colon and Rectum, Tokyo, Japan. Department of Digestive Tract and General Surgery, Saitama Medical Center, Saitama Medical University, Saitama, Japan. Department of Surgery, National Defense Medical College, Saitama, Japan. Department of Gastrointestinal Surgery, Tokyo Medical and Dental University, Tokyo, Japan. Department of Gastroenterological and Transplant Surgery, Hiroshima University, Hiroshima, Japan. Department of Gastrointestinal and Pediatric Surgery, Mie University Graduate School of Medicine, Tsu, Japan. Digestive Disease Center, Northern Yokohama Hospital, Showa University, Yokohama, Japan. Colorectal Surgery Division, National Cancer Center Hospital, Tokyo, Japan. Department of Surgery, Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center Komagome Hospital, Tokyo, Japan. Department of Surgery, Hyogo College of Medicine, Hyogo, Japan. Department of Surgical Oncology, Graduate School of Medicine, The University of Tokyo, Tokyo, Japan. Tokyo Medical and Dental University, Tokyo, Japan.	Feasibility of laparoscopic total proctocolectomy with ileal pouch-anal anastomosis and total colectomy with ileorectal anastomosis for familial adenomatous polyposis: results of a nationwide multicenter study.	Int. J. Clin. Oncol., 21 (5): 953-961, 2016	Original Article

48	Koyama, M., Terauchi, T., Koizumi, M., Tanaka, H., Takeuchi, K.	aDepartment of Nuclear Medicine bDiagnostic Imaging cDivision of Pathology, The Cancer Institute Hospital of JFCR, Tokyo, Japan.	Sinonasal oncocytic Schneiderian papilloma accompanied by intravascular lymphoma: A case report on FDG- PET/CT imaging	Medicine (Baltimore), 95 (34): e4646, 2016	Case report
49	Kumagai, K., Hiki, N., Nunobe, S., Irino, T., Ida, S., Ohashi, M., Yamaguchi, T., Sano, T.	Department of Gastroenterological Surgery, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, 3-8-31 Ariake, Koto-ku, Tokyo, 135-8550, Japan. Department of Gastroenterological Surgery, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, 3-8-31 Ariake, Koto-ku, Tokyo, 135-8550, Japan.	Metastasis to the lymph nodes along the proper hepatic artery from adenocarcinoma of the stomach.	Langenbecks Arch. Surg., 401 (5): 677-85, 2016	Original Article
50	Kuroda, H., Sakao, Y., Mun, M., Motoi, N., Ishikawa, Y., Nakagawa, K., Yatabe, Y., Okumura, S.	(Kuroda, K. 1&2)1 Department of Thoracic Surgery, Aichi Cancer Center Hospital, Chikusa-ku, Nagoya 464-8681, Japan ; 2 Department of Thoracic Surgical Oncology, 3 Department of Pathology, Japanese Foundation for Cancer Research, Cancer Institute Hospital, Kotouku, Tokyo 135- 8550, Japan ; 4 Department of Pathology and Molecular Diagnosis, Aichi Cancer Hospital, Chikusa-ku, Nagoya 464-8681, Japan.	Therapeutic value of lymph node dissection for right middle lobe non-small-cell lung cancer.	J. Thorac. Dis., 8 (5): 795-802, 2016	Case report
51	Kusano, Y., Terui, Y., Nishimura, N., Takahashi, A., Inoue, N., Ueda, K., Mishima, Y., Yokoyama, M., Hatake, K.	Department of Hematology and Oncology, Japanese Foundation for Cancer Research, Japan	Acute pulmonary embolism induced by pomalidomide plus low-dose dexamethasone.	Remedy Open Access: Hematology, 1: 1021, 2016	Case report
52	Kusano, Y., Terui, Y., Ueda, K., Hatake, K.	Department of Hematology and Oncology, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, 3-8-31, Ariake, Koto-ward, Tokyo, Japan, 135- 8550. Department of Hematology and Oncology, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, 3-8-31, Ariake, Koto-ward, Tokyo, Japan, 135- 8550.	Epstein-Barr virus gastric ulcer associated with ruxolitinib.	Ann. Hematol., 95 (10): 1741-2, 2016	Letter
53	Kusano, Y., Terui, Y., Ueda, K., Hatake, K.	Department of Hematology and Oncology, Cancer Institute Hospital of Japanese Foundation for Cancer Research, 3-8-31, Ariake, Koto- ward, Tokyo, Japan, 135-8550. Department of Hematology and Oncology, Cancer Institute Hospital of Japanese Foundation for Cancer Research, 3-8-31, Ariake, Koto- ward, Tokyo, Japan, 135-8550.	Klebsiella pneumoniae primary liver abscess associated with ruxolitinib.	Ann. Hematol., 95 (9): 1561-2, 2016	Letter
54	Kusano, Y., Terui, Y., Yokoyama, M., Hatake, K.	Department of Hematology and Oncology, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan.	Lichenoid drug eruption associated with Bendamustine.	Blood Cancer J., 6 (6): e438, 2016	Letter

計7件

55	Matsuda, T., Hiki, N., Nunobe, S., Aikou, S., Hirasawa, T., Yamamoto, Y., Kumagai, K., Ohashi, M., Sano, T. , Yamaguchi, T.	Department of Gastroenterological Surgery, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, 3-10-6 Ariake, Koto-ku, Tokyo 135-8550, Japan. Department of Gastroenterological Surgery, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, 3-10-6 Ariake, Koto-ku, Tokyo 135-8550, Japan. Department of Gastroenterology, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, 3-10-6 Ariake, Koto-ku, Tokyo 135-8550, Japan.	Feasibility of laparoscopic and endoscopic cooperative surgery for gastric submucosal tumors (with video).	Gastrointest. Endosc., 84 (1): 47-52, 2016	Original Article
56	Matsuda, T., Kurokawa, Y., Yoshikawa, T., Kishi, K., Misawa, K., Ohi, M., Mine, S., Hiki, N. , Takeuchi, H.	Matsuda, T. 1&2併記 1.Department of Surgery, Keio University School of Medicine, 35 Shinanomachi, Shinjuku-ku, Tokyo, 160-8582, Japan. 2.Department of Gastroenterological Surgery, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, 3-10-6 Ariake, Koto-ku, Tokyo, 135-8550, Japan. 3.Department of Gastroenterological Surgery, Osaka University Graduate School of Medicine, 2-2 Yamadaoka Suita, Osaka, 565-0871, Japan. 4.Department of Surgery, Kanagawa Cancer Center, 2-3-2 Nakao, Asahi, Yokohama, Kanagawa, 241-0815, Japan. 5.Department of Surgery, Osaka Medical Center for Cancer and Cardiovascular Diseases, 3-3 Nakamichi 1-Chome, Higashinari-ku, Osaka, 537-8511, Japan. 6.Department of Gastroenterological Surgery, Aichi Cancer Center Hospital, 1-1 Kanokoden, Chikusa-ku, Nagoya, 464-8681, Japan. 7.Department of Surgery, Mie University Graduate School of Medicine, 2-174 Edobashi Tsu, Mie, 514-8507, Japan. 8.Department of Gastroenterological Surgery, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, 3-10-6 Ariake, Koto-ku, Tokyo, 135-8550, Japan. 9.Department of Surgery, Keio University School of Medicine, 35 Shinanomachi, Shinjuku-ku, Tokyo, 160-8582, Japan.	Clinicopathological characteristics and prognostic factors of patients with siewert type II esophagogastric junction carcinoma: A retrospective multicenter study.	World J. Surg., 40 (7): 1672-1679, 2016	Original Article
57	Matsuki, R., Mise, Y., Saiura, A., Inoue, Y., Ishizawa, T. , Takahashi, Y.	Department of Gastroenterological Surgery, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, Ariake Hospital, Tokyo, Japan. Department of Gastroenterological Surgery, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, Ariake Hospital, Tokyo, Japan.	Parenchymal-sparing hepatectomy for deep-placed colorectal liver metastases.	Surgery, 160 (5): 1256-63, 2016	Original Article
58	Matsumura, M., Mise, Y., Saiura, A., Inoue, Y., Ishizawa, T., Ichida, H., Matsuki, R., Tanaka, M., Takeda, Y. , Takahashi, Y.	Department of Gastroenterological Surgery, Cancer Institute Hospital, Ariake Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan. Department of Gastroenterological Surgery, Cancer Institute Hospital, Ariake Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan.	Parenchymal-sparing hepatectomy does not increase intrahepatic recurrence in patients with advanced colorectal liver metastases.	Ann. Surg. Oncol., 23 (11): 3718-26, 2016	Original Article
59	Matsumura, M., Saiura, A., Inoue, Y., Ishizawa, T., Mise, Y. , Takahashi, Y.	Department of Gastroenterological Surgery, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, Ariake Hospital, 3-8-31 Ariake, Koto-ku, Tokyo, 135-8550, Japan. Department of Gastroenterological Surgery, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, Ariake Hospital, 3-8-31 Ariake, Koto-ku, Tokyo, 135-8550, Japan.	High rate of organ/space surgical site infection after hepatectomy with preexisting bilioenteric anastomosis.	World J. Surg., 40 (4): 937-945, 2016	Original Article

計5件

60	Matsusaka, S., Nashimoto, A., Nishikawa, K., Miki, A., Miwa, H., Yamaguchi, K., Yoshikawa, T., Ochiai, A., Morita, S., Sano, T., Kodera, Y., Kakeji, Y., Sakamoto, J., Saji, S. , Yoshida, K.	Cancer Institute Hospital of the Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan.	Clinicopathological factors associated with HER2 status in gastric cancer: results from a prospective multicenter observational cohort study in a Japanese population (JFMC44- 1101).	Gastric Cancer, 19 (3): 839-51, 2016	Original Article
61	Mine, S. , Watanabe, M.	Department of Gastroenterological Surgery, Cancer Institute Hospital, 3- 8-31, Ariake, Koto-ku, Tokyo, 135-8550, Japan.	A commentary on "Ten-year follow-up results of a randomized clinical trial comparing left thoracoabdominal and abdominal transhiatal approaches to total gastrectomy for adenocarcinoma of the oesophagogastric junction or gastric cardia".	Transl. Gastroenterol. Hepatol., 1: 12, 2016	Original Article
62	Mun, M., Matsuura, Y., Nakao, M., Ichinose, J., Nakagawa, K. , Okumura, S.	Department of Thoracic Surgical Oncology, The Cancer Institute Hospital, Tokyo, Japan.	Noninvasive computed tomography-guided marking technique for peripheral pulmonary nodules.	J. Thorac. Dis., 8 (Suppl 9): S672-s676, 2016	Original Article
63	Murata, A., Akiyoshi, T., Ueno, M., Fukunaga, Y., Nagayama, S., Fujimoto, Y., Konishi, T., Nagasaki, T., Nagata, J., Ohno, R., Arai, M. , Yamaguchi, T.	Department of Gastroenterological Surgery, Cancer Institute Hospital, 3-8- 31, Ariake, Koto-ku, Tokyo, 135-8550, Japan.Department of Gastroenterological Surgery, Cancer Institute Hospital, 3-8- 31, Ariake, Koto-ku, Tokyo, 135-8550, Japan.Department of Clinical Genetic Oncology, Cancer Institute Hospital, 3-8- 31, Ariake, Koto-ku, Tokyo, 135-8550, Japan.	Clinicopathological characteristics of young patients with sporadic colorectal cancer.	Surg. Today, 46 (10): 1166-1175, 2016	Original Article
64	Nakajima, N., Oguchi, M., Kumai, Y., Yoshida, M., Iwase, T., Ito, Y., Akiyama, F. , Ohno, S.	The Cancer Institute Hospital of Japanese Foundation for Cancer Research (JFCR), Tokyo 135-8550, Japan.	Clinical outcome and prognostic factors in locally advanced breast cancer patients treated with neoadjuvant chemotherapy followed by surgery and postmastectomy radiation therapy.	Int. J. Radiat. Oncol. Biol. Phys., 96 (2S): E22, 2016	Others

計5件

65	Nakano, K., Motoi, N., Tomomatsu, J., Gokita, T., Ae, K., Tanizawa, T., Matsumoto, S., Takahashi, S.	Department of Medical Oncology, Cancer Institute Hospital of the Japanese Foundation for Cancer Research, Ariake, Tokyo, 135-8550, Japan. Division of Pathology, Cancer Institute of the Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan. Department of Orthopedic Surgery, Cancer Institute Hospital of the Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan. Department of Medical Oncology, Cancer Institute Hospital of the Japanese Foundation for Cancer Research, Ariake, Tokyo, 135-8550, Japan.	Risk factors for pneumothorax in advanced and/or metastatic soft tissue sarcoma patients during pazopanib treatment: a single-institute analysis.	BMC Cancer, 16 (1): 750, 2016	Original Article
66	Nakano, K., Sato, Y., Sasaki, T., Shimbashi, W., Fukushima, H., Yonekawa, H., Mitani, H., Kawabata, K., Takahashi, S.	a Department of Medical Oncology, Cancer Institute Hospital of the Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan ;b Department of Pathology, Cancer Institute Hospital of the Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan ;c Department of Head and Neck Surgery, Cancer Institute Hospital of the Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan.	Combination chemotherapy of carboplatin and paclitaxel for advanced/metastatic salivary gland carcinoma patients: differences in responses by different pathological diagnoses.	Acta Otolaryngol., 136 (9): 948-51, 2016	Original Article
67	Nakayama, Y., Ito, Y., Tanabe, M., Takahashi, S.	Medical Oncology, Breast Oncology Center, the Cancer Institute Hospital of the Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan. Medical Oncology, Breast Oncology Center, the Cancer Institute Hospital of the Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan.	Omission of dexamethasone from antiemetic treatment for highly emetogenic chemotherapy in breast cancer patients with hepatitis B infection or diabetes mellitus.	J. Community Support. Oncol., 14 (5): 210-4, 2016	Original Article
68	Nishikawa, S., Tambo, Y., Ninomiya, H., Oguri, T., Kawashima, Y., Takano, N., Kitazono, S., Ohyanagi, F., Horiike, A., Yanagitani, N., Ishikawa, Y., Nishio, M.	Thoracic Medical Oncology, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo. Department of Respiratory Medicine, Kanazawa University Hospital, Kanazawa. Department of Pathology, The Cancer Institute, Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan. Thoracic Medical Oncology, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo	A case treated with nivolumab after small cell lung cancer transformation of mutant EGFR non-small cell lung cancer.	Ann. Oncol., 27 (12): 2300-2302, 2016	Letter
69	Nunobe, S., Kumagai, K., Ida, S., Ohashi, M., Hiki, N.	Department of Gastroenterological Surgery, Cancer Institute Ariake Hospital, Tokyo, Japan. Department of Gastroenterological Surgery, Cancer Institute Ariake Hospital, Tokyo, Japan.	Minimally invasive surgery for stomach cancer.	Jpn. J. Clin. Oncol, 46 (5): 395-8, 2016	Review
70	Nunobe, S., Sano, T.	Department of Gastroenterological Surgery, Cancer Institute Ariake Hospital of JFCR, Tokyo, Japan.	Vagus nerve-preserving distal gastrectomy may improve the quality of life after gastrectomy in early stage gastric cancer patients.	Transl. Cancer Res., 5 (Suppl.4): S882-S884, 2016	Original Article

71	Ogura, A., Akiyoshi, T., Konishi, T., Fujimoto, Y., Nagayama, S., Fukunaga, Y., Ueno, M.	Department of Gastroenterological Surgery, The Cancer Institute Hospital of Japanese Foundation for Cancer Research, 3-8-31, Ariake, Koto-ku, Tokyo, 135-8550, Japan. Department of Gastroenterological Surgery, The Cancer Institute Hospital of Japanese Foundation for Cancer Research, 3-8-31, Ariake, Koto-ku, Tokyo, 135-8550, Japan.	Safety of laparoscopic pelvic exenteration with urinary diversion for colorectal malignancies.	World J. Surg., 40 (5): 1236-43, 2016	Original Article
72	Ohno, S.	Center of Breast Oncology, Cancer Institute Hospital, Koto-ku, Tokyo, Japan.	Tolerability of therapies recommended for the treatment of hormone receptor-positive locally advanced or metastatic breast cancer.	Clin. Breast Cancer, 16 (4): 238-46, 2016	Review
73	Okamura, A., Watanabe, M., Kuroguchi, T., Imamura, Y., Nishida, K., Mine, S.	Department of Gastroenterological Surgery, Cancer Institute Hospital of the Japanese Foundation for Cancer Research, 3-8-31 Ariake, Koto-ku, Tokyo, 135-8550, Japan. Department of Gastroenterological Surgery, Cancer Institute Hospital of the Japanese Foundation for Cancer Research, 3-8-31 Ariake, Koto-ku, Tokyo, 135-8550, Japan.	Mediastinal adiposity influences the technical difficulty of thoracic procedure in minimally invasive esophagectomy.	World J. Surg., 40 (10): 2398-2404, 2016	Original Article
74	Okamura, A., Watanabe, M., Mine, S., Nishida, K., Imamura, Y., Kuroguchi, T., Kitagawa, Y., Sano, T.	Department of Gastroenterological Surgery, Cancer Institute Hospital of the Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan. Department of Gastroenterological Surgery, Cancer Institute Hospital of the Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan. Department of Surgery, School of Medicine, Keio University, Tokyo, Japan.	Clinical impact of abdominal fat distribution on prognosis after esophagectomy for esophageal squamous cell carcinoma.	Ann. Surg. Oncol., 23 (4): 1387-1394, 2016	Original Article
75	Okamura, A., Watanabe, M., Mine, S., Nishida, K., Imamura, Y., Kuroguchi, T., Kitagawa, Y., Sano, T.	Department of Gastroenterological Surgery, Cancer Institute Hospital of the Japanese Foundation for Cancer Research, 3-8-31 Ariake, Koto-ku, Tokyo, 135-8550, Japan. Department of Gastroenterological Surgery, Cancer Institute Hospital of the Japanese Foundation for Cancer Research, 3-8-31 Ariake, Koto-ku, Tokyo, 135-8550, Japan. Department of Surgery, School of Medicine, Keio University, Tokyo, Japan.	Factors influencing difficulty of the thoracic procedure in minimally invasive esophagectomy.	Surg. Endosc., 30 (10): 4279-85, 2016	Original Article
76	Okamura, A., Watanabe, M., Mine, S., Nishida, K., Kuroguchi, T., Imamura, Y.	Department of Gastroenterological Surgery, Cancer Institute Hospital of the Japanese Foundation for Cancer Research, 3-8-31 Ariake, Koto-ku, Tokyo, 135-8550, Japan. Department of Gastroenterological Surgery, Cancer Institute Hospital of the Japanese Foundation for Cancer Research, 3-8-31 Ariake, Koto-ku, Tokyo, 135-8550, Japan.	Spirometric lung age predicts postoperative pneumonia after esophagectomy.	World J. Surg., 40 (10): 2412-2418, 2016	Original Article

計6件

77	Osumi, H., Fujisaki, J., Omae, M., Shimizu, T., Yoshio, T., Ishiyama, A., Hirasawa, A., Tsuchida, T., Yamamoto, Y., Igarashi, M.	Departments of Gastroenterology and Pathology, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo 135-8550, Japan	Meta-analysis of lymph node metastasis in Siewert type I and II T1 adenocarcinomas.	World J. Metaanal., 4 (6): 118-123, 2016	Original Article
78	Osumi, H., Shinozaki, E., Suenaga, M., Matsusaka, S., Konishi, T., Akiyoshi, T., Fujimoto, Y., Nagayama, S., Fukunaga, Y., Ueno, M., Mise, Y., Ishizawa, T., Inoue, Y., Takahashi, Y., Sajura, A., Uehara, H., Mun, M., Okumura, S., Mizunuma, N., Miki, Y., Yamaguchi, T.	Department of Gastroenterology, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan. Surgery, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan. Thoracic Center, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan. Cancer Institute.	RAS mutation is a prognostic biomarker in colorectal cancer patients with metastastectomy.	Int. J. Cancer, 139 (3): 803-11, 2016	Original Article
79	Osumi, H., Yoshio, T., Chin, K., Ogura, M., Kumekawa, Y., Suenaga, M., Matsusaka, S., Shinozaki, E., Miyamoto, Y., Morishige, K., Ishiyama, A., Hirasawa, T., Tsuchida, T., Yamamoto, Y., Fujisaki, J., Igarashi, M., Mizunuma, N.	Department of Gastroenterology, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, 3-8-31 Ariake, Koto-ku, Tokyo, 135-8550, Japan.	Chemotherapy is effective for stage I gastric cancer in patients with synchronous esophageal cancer.	Gastric Cancer, 19 (2): 625-30, 2016	Original Article
80	Samejima, J., Mun, M., Matsuura, Y., Nakao, M., Uehara, H., Nakagawa, K., Masuda, M., Okumura, S.	Department of Thoracic Surgical Oncology, The Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan;; Department of Surgery, Yokohama City University School of Medicine, Kanagawa, Japan. Department of Thoracic Surgical Oncology, The Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan. Department of Surgery, Yokohama City University School of Medicine, Kanagawa, Japan.	Thoracoscopic anterior 'fissure first' technique for left lung cancer with an incomplete fissure.	J. Thorac. Dis., 8 (11): 3105-3111, 2016	Original Article
81	Sano, M., Yamamoto, S., Uehara, S., Yuasa, T., Masuda, H., Fukui, I., Yonese, J.	Department of Urology, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo 135-8550, Japan.	Long-term complete response of antiandrogen withdrawal syndrome in a patient with metastatic prostate cancer: A case report.	Mol. Clin. Oncol., 5 (3): 208-210, 2016	Case report

82	Sato, T., Saiura, A., Inoue, Y., Takahashi, Y., Arita, J., Takemura, N.	Department of Gastroenterological Surgery, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, 3-8-31 Ariake, Koto-Ku, Tokyo, 135-8550, Japan. Department of Gastroenterological Surgery, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, 3-8-31 Ariake, Koto-Ku, Tokyo, 135-8550, Japan.	Distal pancreatectomy with en bloc resection of the celiac axis with preservation or reconstruction of the left gastric artery in patients with pancreatic body cancer.	World J. Surg., 40 (9): 2245-53, 2016	Original Article
83	Shiga, T.	Department of General Medicine, Cardiology, The Cancer Institute Hospital of Japanese Foundation for Cancer Research	Cardiac troponin as a specific and non-specific biomarker for cardiovascular events.	Int. Heart J., 57 (3): 265-267, 2016	Original Article
84	Shigematsu, Y., Matsuura, M., Nishimura, N., Tsuyama, N., Takeuchi, K., Terui, Y., Takeshima, N., Hatake, K.	Division of Hematology Oncology, The Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation of Cancer Research, Japan.	Intravascular large B-cell lymphoma of bilateral ovaries and the uterus in an asymptomatic patient with a t(11;22)(q23;q11) constitutional translocation.	Intern. Med., 55 (21): 3169-74, 2016	Original Article
85	Suenaga, M., Mashima, T., Kawata, N., Wakatsuki, T., Horiike, Y., Matsusaka, S., Dan, S., Shinozaki, E., Seimiya, H., Mizunuma, N., Yamaguchi, K., Yamaguchi, T.	1Department of Gastroenterological and Chemotherapy Cancer Institute Hospital of Japanese Foundation for Cancer Research, Koto-ku, Tokyo 135-8550, Japan. 2Division of Molecular Biotherapy, Cancer Chemotherapy Center, Japanese Foundation for Cancer Research, Koto-ku, Tokyo 135-8550, Japan. 3Division of Molecular Pharmacology, Cancer Chemotherapy Center, Japanese Foundation for Cancer Research, Koto-ku, Tokyo 135-8550, Japan. 4Department of Gastroenterological and Surgery Cancer Institute Hospital of Japanese Foundation for Cancer Research, Koto-ku, Tokyo 135-8550, Japan	Serum VEGF-A and CCL5 levels as candidate biomarkers for efficacy and toxicity of regorafenib in patients with metastatic colorectal cancer.	Oncotarget, 7 (23): 34811-23, 2016	Original Article
86	Sugita, K., Kawakami, K., Yokokawa, T., Sugisaki, T., Takiguchi, T., Aoyama, T., Suzuki, K., Suenaga, M., Yamaguchi, K., Inoue, A., Machida, Y., Yamaguchi, T., Hama, T.	Department of Pharmacy, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan.	Self-reported adherence to trifluridine and Titracil hydrochloride for metastatic colorectal cancer: A retrospective cohort study.	Oncology, 91 (4): 224-230, 2016	Original Article

計5件

87	Sugiyama, Y., Sasaki, H., Komatsu, K., Yabushita, R., Oda, M., Yanoh, K., Ueda, M., Itamochi, H., Okugawa, K., Fujita, H., Tase, T., Nakatani, E., Moriya, T.	The Japanese Society of Clinical Cytology Study Group on the Use of Automated Screening Systems for Quality Control Purposes regarding Cervical Cytology, Cancer Institute Hospital, Tokyo, Japan.	A Multi-institutional feasibility study on the use of automated screening systems for quality control rescreening of cervical cytology.	Acta Cytol., 60 (5): 451- 57, 2016	Original Article
88	Suzuki, K., Yamanaka, T., Hashimoto, H., Shimada, Y., Arata, K., Matsui, R., Goto, K., Takiguchi, T., Ohyanagi, F., Kogure, Y., Nogami, N., Nakao, M., Takeda, K., Azuma, K., Nagase, S., Hayashi, T., Fujiwara, K., Shimada, T., Seki, N., Yamamoto, N.	(Suzuki, K. 1&2) 1.Department of Pharmacy, Shizuoka Cancer Center, Shizuoka 2.Department of Pharmacy, Cancer Institute Hospital of the Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo. 3.Department of Biostatistics, Yokohama City University School of Medicine, Yokohama.Division of Pharmacy. 4.Division of Gastrointestinal Oncology, National Cancer Center Hospital, Tokyo. Department of Pharmacy, Shizuoka Cancer Center, Shizuoka. 5.Department of Pharmacy, Department of Thoracic Oncology, National Cancer Center Hospital East, Chiba. 6.Department of Pharmacy, Cancer Institute Hospital of the Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo. Department of Thoracic Medical Oncology, Cancer Institute Hospital of the Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo. Department of Thoracic Oncology, NHO Shikoku Cancer Center, Ehime. Department of Clinical Oncology, Osaka City General Hospital, Osaka. Department of Thoracic Surgery, Tokyo Medical University Hospital, Tokyo. Department of Pharmacy, NHO Kyushu Cancer Center, Fukuoka.Department of Pharmacy, Kindai University Hospital, Osaka. Division of Medical Oncology, Teikyo University Hospital, Tokyo. Department of Thoracic Oncology, Shizuoka Cancer Center, Shizuoka Third Department of Internal Medicine, Wakayama Medical University, Wakayama, Japan.	Randomized, double- blind, phase III trial of palonosetron versus granisetron in the triplet regimen for preventing chemotherapy- induced nausea and vomiting after highly emetogenic chemotherapy: TRIPLE study.	Ann. Oncol., 27 (8): 1601- 6, 2016	Original Article
89	Suzuki, M., Deno, M., Myers, M., Asakage, T., Takahashi, K., Saito, K., Mori, Y., Saito, H., Ichikawa, Y., Yamamoto- Mitani, N., Miyashita, M.	Department of Nursing,Cancer Institute Hospital of Japanese Foundation for CancerResearch,Tokyo,Japan. Graduate School of Education,University of Tokyo,Tokyo,Japan. Division of Community- Based Comprehensive Dentistry,Department of Special Needs Dentistry,School of Dentistry,Showa University,Tokyo,Japan. Department of Head and Neck Surgery,Tokyo Medical and Dental University,Tokyo,Japan. Division of Oral Rehabilitation Medicine,Department of Special Needs Dentistry,School of Dentistry,Showa University,Tokyo,Japan.Department of Dentistry and Oral Surgery,Kanto Medical Center NTT EC,Tokyo,Japan.Department of Dentistry,Oral and Maxillofacial Surgery,Ichii Medical University,Tochigi,Japan.Department of Dentistry and Oral Surgery,Tokyo Metropolitan Health and Medical Treatment Corporation,Ehara Hospital,Tokyo,Japan. Department of Oral Surgery,Tokyo Metropolitan Health and Medical Treatment Corporation,Toshima Hospital,Tokyo,Japan. Department of Adult Health Nursing/Palliative Care Nursing,Graduate School of Medicine,University of Tokyo,Tokyo,Japan.Department of Palliative Nursing,Health Sciences,Tohoku University Graduate School of Medicine,Miyagi,Japan.	Anxiety and depression in patients after surgery for head and neck cancer in Japan.	Palliat. Support. Care, 14 (3): 269-77, 2016	Original Article

計3件

90	Takahashi, M., Hasegawa, K., Oba, M., Saiura, A., Arita, J., Sakamoto, Y., Shinozaki, E., Mizunuma, N., Matsuyama, Y., Kokudo, N.	First Author (1) and (2) (1)Hepato-Biliary-Pancreatic Surgery Division, Department of Surgery, Graduate School of Medicine, University of Tokyo, 7-3-1, Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo, 113-8655, Japan. (2)Department of Gastrointestinal Surgery, Cancer Institute Hospital of the Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan. (3)Hepato-Biliary-Pancreatic Surgery Division, Department of Surgery, Graduate School of Medicine, University of Tokyo, 7-3-1, Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo, 113-8655, Japan. kihase- tky@umin.ac.jp.(4)Department of Gastroenterology, Cancer Institute Hospital of the Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan. (5)Department of Biostatistics, University of Tokyo, 7-3-1, Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo, 113-8655, Japan. (6)Hepato-Biliary- Pancreatic Surgery Division, Department of Surgery, Graduate School of Medicine, University of Tokyo, 7-3-1, Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo, 113-8655, Japan. KOKUDO-2SU@h.u- tokyo.ac.jp.	Phase 1 study on S-1 and oxaliplatin therapy as an adjuvant after hepatectomy for colorectal liver metastases.	Invest. New Drugs, 34 (4): 468-73, 2016	Original Article
91	Takahashi, S., Nakano, K., Yokota, T., Shitara, K., Muro, K., Sunaga, Y., Ecstein- Fraisse, E., Ura, T.	Department of Medical Oncology, Cancer Chemotherapy Center and Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo Department of Medical Oncology, Cancer Chemotherapy Center and Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo. Department of Clinical Oncology, Aichi Cancer Center Hospital, Aichi, Japan Present address: Shizuoka Cancer Center, Japan. Department of Clinical Oncology, Aichi Cancer Center Hospital, Aichi, Japan Present address: National Cancer Center Hospital East, Japan. Department of Clinical Oncology, Aichi Cancer Center Hospital, Aichi, Japan. Sanofi K.K., Tokyo, Japan.	Phase 1 study of ombrabulin in combination with cisplatin (CDDP) in Japanese patients with advanced solid tumors.	Jpn. J. Clin. Oncol, 46 (11): 1000-1007, 2016	Original Article
92	Takatsu, Y., Hiki, N., Nunobe, S., Ohashi, M., Honda, M., Yamaguchi, T., Nakajima, T., Sano, T.	Department of Gastroenterological Surgery, Cancer Institute Ariake Hospital of JFCR, Tokyo, Japan.	Clinicopathological features of gastric cancer in young patients.	Gastric Cancer, 19 (2): 472-8, 2016	Original Article
93	Takemura, N., Saiura, A., Koga, R., Yamamoto, J., Yamaguchi, T.	Department of Gastroenterological Surgery, Cancer Institute Ariake Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan. Department of Surgery, National Defense Medical College, Saitama, Japan.	Risk factors for and management of postpancreatectomy hepatic steatosis.	Scand. J. Surg.: in press 10.1177/14574969166696 30, 2016	Original Article
94	Taki, K., Sato, Y., Nomura, S., Ashihara, Y., Kita, M., Tajima, I., Sugano, K., Arai, M.	Clinical Genetic Oncology, Cancer Institute Hospital of Japanese Foundation for Cancer Research, 3-8-31 Ariake, Koto-ku, Tokyo, 135- 8550, Japan. Division of Bioresources, Chemical Resources Laboratory, Tokyo Institute of Technology, Yokohama, Japan. Department of Clinical Research, Cancer Institute Hospital of Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan. Tajima Hospital, Agatsuma-gun, Gunma, Japan. Oncogene Research Unit/Cancer Prevention Unit, Tochigi Cancer Center Research Institute, Tochigi, Japan. Clinical Genetic Oncology, Cancer Institute Hospital of Japanese Foundation for Cancer Research, 3-8- 31 Ariake, Koto-ku, Tokyo, 135-8550, Japan.	Mutation analysis of MUTYH in Japanese colorectal adenomatous polyposis patients.	Fam. Cancer, 15 (2): 261- 5, 2016	Original Article

95	Takizawa, K., Yamamoto, H., Taguchi, K., Ohno, S., Tokunaga, E., Yamashita, N., Kubo, M., Nakamura, M., Oda, Y.	Department of Anatomic Pathology, Graduate School of Medical Sciences, Kyushu University, Fukuoka, 812-8582, Japan. Department of Anatomic Pathology, Graduate School of Medical Sciences, Kyushu University, Fukuoka, 812-8582, Japan. Department of Pathology, National Kyushu Cancer Center, Fukuoka, 811-1395, Japan. Department of Breast Oncology, National Kyushu Cancer Center, Fukuoka, 811-1395, Japan. Department of Breast Oncology, Cancer Institute Hospital, Tokyo, 135-8550, Japan. Department of Breast Oncology, National Kyushu Cancer Center, Fukuoka, 811-1395, Japan. Department of Surgery and Science, Graduate School of Medical Sciences, Kyushu University, Fukuoka, 811-8582, Japan. Department of Surgery and Science, Graduate School of Medical Sciences, Kyushu University, Fukuoka, 811-8582, Japan. Department of Surgery and Oncology, Graduate School of Medical Sciences, Kyushu University, Fukuoka, 811-8582, Japan.	Insulin-like growth factor II messenger RNA-binding protein-3 is an indicator of malignant phyllodes tumor of the breast.	Hum. Pathol., 55: 30-8, 2016	Original Article
96	Tanaka, M., Inoue, Y., Mise, Y., Ishizawa, T., Arita, J., Takahashi, Y., Saiura, A.	Department of HBP Surgery, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, 3-8-31 Ariake, Koto-ku, Tokyo, 135-8550, Japan. Department of HBP Surgery, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, 3-8-31 Ariake, Koto-ku, Tokyo, 135-8550, Japan. Department of HBP Surgery, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, 3-8-31 Ariake, Koto-ku, Tokyo, 135-8550, Japan. Department of HBP Surgery, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, 3-8-31 Ariake, Koto-ku, Tokyo, 135-8550, Japan. Department of HBP Surgery, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, 3-8-31 Ariake, Koto-ku, Tokyo, 135-8550, Japan. Department of HBP Surgery, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, 3-8-31 Ariake, Koto-ku, Tokyo, 135-8550, Japan.	Laparoscopic deroofing for polycystic liver disease using laparoscopic fusion indocyanine green fluorescence imaging.	Surg. Endosc., 30 (6): 2620-2623, 2016	Original Article
97	Usami, T., Takahashi, A., Matoda, M., Okamoto, S., Kondo, E., Kanao, H., Umayahara, K., Takeshima, N.	Department of Gynecology, Cancer Institute Hospital, Tokyo, Japan.	Review of treatment and prognosis of stage IVB cervical carcinoma.	Int. J. Gynecol. Cancer, 26 (7): 1239-45, 2016	Review
98	Watanabe, M., Mine, S., Nishida, K., Kuroguchi, T., Okamura, A., Imamura, Y.	Department of Gastroenterological Surgery, Cancer Institute Hospital of Japanese Foundation for Cancer Research, 3-8-31 Ariake, Koto-ku, Tokyo, 135-8550, Japan. Department of Gastroenterological Surgery, Cancer Institute Hospital of Japanese Foundation for Cancer Research, 3-8-31 Ariake, Koto-ku, Tokyo, 135-8550, Japan.	Reconstruction after esophagectomy for esophageal cancer patients with a history of gastrectomy.	Gen. Thorac. Cardiovasc. Surg., 64 (8): 457-63, 2016	Review
99	Watanabe, M., Mine, S., Nishida, K., Yamada, K., Shigaki, H., Oya, S., Matsumoto, A., Kuroguchi, T., Okamura, A., Inamura, Y., Sano, T.	The Department of Gastroenterological Surgery Cancer Institute Hospital of Japanese Foundation for Cancer Research Tokyo Japan	Improvement in short-term outcomes after esophagectomy with a multidisciplinary perioperative care team.	Esophagus, 13 (4): 337-342, 2016	Original Article

100	Yamasaki, M., Shin, T., Sato, R., Hirai, K., Kan, T., Fujinami, H., Mori, K., Sumino, Y., Nomura, T., Sato, F., Masuda, H., Yonese, J., Mimata, H.	(Yamasaki, M. 1&2) 1.Department of Urology, Oita University Faculty of Medicine, Oita, Japan. 2.Department of Urology, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan.	Pfannenstiel laparoendoscopic reduced-port radical nephrectomy.	Asian J. Endosc. Surg., 9 (3): 222-5, 2016	Case report
101	Yamasaki, M., Yuasa, T., Uehara, S., Fujii, Y., Yamamoto, S., Masuda, H., Fukui, I., Yonese, J.	Department of Urology, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, Ariake, Tokyo, 135- 8550, Japan.Department of Urology, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, Ariake, Tokyo, 135-8550, Japan.	Improvement of renal function by changing the bone-modifying agent from zoledronic acid to denosumab.	Int. J. Clin. Oncol., 21 (6): 1191-5, 2016	Original Article
102	Yoshio, T., Nishida, T., Hayashi, Y., Iijima, H., Tsujii, M., Fujisaki, J., Takehara, T.	Toshiyuki Yoshio, Junko Fujisaki, Department of Gastroenterology, Cancer Institute Hospital, Tokyo 135-8550, Japan.	Clinical problems with antithrombotic therapy for endoscopic submucosal dissection for gastric neoplasms.	World. J. Gastrointest. Surg., 8 (20): 756-762, 2016	Review
103	Yoshizawa, N., Fujisaki, J., Omae, M., Igarashi, M., Tanabe, S., Koizumi, W.	1Department of Gastroenterology, Cancer Institute Hospital, Japan 2Department of Gastroenterology, Kitasato University School of Medicine, Japan	Study of the invasion depth diagnosis of superficial Barrett's esophageal adenocarcinoma- identification of large vessels by magnifying endoscopy is useful for the diagnosis of submucosal cancer.	Adv. Res. Gastroenterol. Hepatol., 2 (1): 1-5, 2016	Original Article
104	Yuasa, T.	Department of Urology, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan.	Editorial Comment to Role of routine computed tomography scan in the oncological follow up of patients treated by radical cystectomy for bladder cancer.	Int. J. Urol., 23 (10): 846- 847, 2016	Original Article

計5件

合計 104 件

(注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。

2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)

3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。

4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。

5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名. 出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること
(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。
記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)

6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1					Original Article
2					Case report
3					
～					

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

計 _____ 件

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
・ 手順書の主な内容 医学系研究倫理審査委員会手順書	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年 12 回

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。

2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
・ 規定の主な内容 利益相反の定義、利益相反の申告の対象者、申告事項、利益相反マネジメントの管理責任者及び利益相反委員会の設置、利益相反委員会の構成・業務・活動、利益相反マネジメントの実施手順、規定に違反した場合の罰則 等	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年 6 回

(注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年 2 回
・ 研修の主な内容 ヘルシンキ宣言、ICH-GCP、ヒトゲノム・遺伝子解析研究倫理指針、利益相反、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針、倫理指針改定の内容について	

(注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

各コース、プログラムに従い研修を進める。各コースプログラムのローテーションでは、選択したコースプログラムに関連する診療科部門を3ヶ月から最大12ヶ月の期間で研修を行う。研修にあたっては、各コースとも、教育責任者1名と指導医を複数名配置し、指導は学会専門医などの資格を有する者が中心となり、チーム全体での指導が受けられる体制をとっている。

また、各カンファレンスにも参加し、特にキャンサーボードでの検討に基づく集学的医療を実践する。加えて基礎的ながん研究を行うがん研究所も併設しており、専門の研究者との交流も行い知識を深めてもらう。

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	149 人
-------------	-------

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
西尾 誠人	呼吸器内科	部長	28年	
藤崎 順子	消化器内科	部長	33年	
伊藤 良則	乳腺内科	部長	36年	
奥村 栄	呼吸器外科	部長	34年	
佐野 武	消化器外科	部長	37年	
大野 真司	乳腺外科	乳腺センター長	33年	
竹島 信宏	婦人科	部長	34年	
三谷 浩樹	頭頸科	部長	29年	
阿江 啓介	整形外科	部長	24年	
米瀬 淳二	泌尿器科	部長	31年	
畠 清彦	血液腫瘍科	部長	39年	
高橋 俊二	総合腫瘍科	部長	34年	
中山 耕之介	皮膚科	総合診療部長	27年	
山田 健志	腫瘍精神科	部長	22年	
横田 美幸	麻酔科	部長	37年	救急部長兼務
澤泉 雅之	形成外科	部長	31年	
辻 英貴	眼科	部長	25年	
原田 壮平	感染症科	部長	16年	
奈良林 至	緩和治療科	部長	32年	
服部 政治	がん疼痛治療科	部長	25年	
小口 正彦	放射線治療部	部長	34年	
松枝 清	画像診断部	部長	31年	
石川 雄一	病理部	部長	32年	
富塚 健	歯科	部長	31年	

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）
<ul style="list-style-type: none">・研修の主な内容・研修の期間・実施回数・研修の参加人数
② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）
<ul style="list-style-type: none">・研修の主な内容・研修の期間・実施回数・研修の参加人数
③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況
<ul style="list-style-type: none">・研修の主な内容 全国のリンパ浮腫治療に関わる医療者の育成（対象：看護師・理学療法士・作業療法士等）・研修の期間・実施回数 4月および10月（各10日間）・研修の参加人数 各回18名

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状
管理責任者氏名	山口 俊晴	
管理担当者氏名	各管理責任部署の長	

		保管場所	管理方法	
診療に関する諸記録	規則第二十二條の三第二項に掲げる事項	病院日誌	院長室	
		各科診療日誌	各診療科	
		処方せん	薬剤部	
		手術記録	手術室	
		看護記録	I T 推進課	
		検査所見記録	I T 推進課	
		エックス線写真	I T 推進課	
		紹介状	診療情報管理室	
	退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	I T 推進課	…病院日誌は、院長室、各診療科医局、処方せんは薬剤部。他、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、患者に係る入院経過の要約及び入院飲料計画書は電子カルテ等によるシステム管理。紹介状の原本については、診療情報管理室にて保管。 …診療録を病院外に持ち出す際の取り扱いについては、原則、禁止としている。	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二條の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	人事部	…人事部で作成管理。
		高度の医療の提供の実績	総務課	…先進医療の年度報告をファイル保管。
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	総務課	…学術研究委員会の活動記録（議事録等）を保管。
		高度の医療の研修の実績	人事部	…人事部にてファイル保管。
		閲覧実績	各管理責任部署	…開示請求に基づき各管理責任部署が対応。
		紹介患者に対する医療提供の実績	医事部及び I T 推進課	…電子カルテによるシステム管理
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事部及び薬剤部	…医事システム。但し、調剤数は薬剤システムでデータを管理。	
一規則第一條の第	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部	…ファイル保管の上、電子カルテにて、常時閲覧可。	

	医療に係る安全管理のための委員会 の開催状況	医療安全管理部	…医療安全管理委員会の開催記録（議事録等）をファイル保管、及び、共有ファイルにデータ保管。
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部	…医療安全職員研修会の開催記録をファイル保管。
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理部	…各現場からの I A レポート報告及びその改善のための医療安全管理委員会等での検討内容をファイル保管。

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一	院内感染対策のための指針の策定状況	院内感染対策部
	第二項	院内感染対策のための委員会の開催状況	院内感染対策部
	第一号	従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	院内感染対策部
	第三号	感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	院内感染対策部
	に掲げる事項	医薬品安全管理責任者の配置状況	薬剤部
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器安全管理責任者の配置状況	MEセンター
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	MEセンター
	医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	購買課	
	医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	購買課	
			…ファイル保管の上、電子カルテにて、常時閲覧可。
			…院内感染対策委員会の開催記録（議事録等）をファイル保管、及び共有ファイルにデータ保管。
			…院内感染対策研修会の開催記録をファイル保管。
			…各現場からのレポート報告及びその改善のための委員会等での検討内容をファイル保管
			…医薬品安全管理責任者を配置。
			…医薬品の安全使用のための研修の開催記録をファイル保管。
			…薬剤部にてファイル保管。
			…医薬品情報管理室にて医薬品情報の収集、評価等を実施し、記録をファイル保管。
			…医療機器安全管理責任者を配置。
			…医療機器の安全使用のための研修の開催記録をファイル保管。
			…自主点検及びメーカー等による保守点検記録等をファイル保管。
			…購買課にて医療機器情報の収集、評価等を実施し、記録をファイル保管。

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十三第一項第一号から第十五号までに掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	総務課 …医療安全管理責任者を配置し、組織図で明示。
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医療クオリティマネジメントセンター …院内感染対策の専任者を配置。
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部 …薬剤部にてファイル保管。
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	総務課 …インフォームドコンセント委員会の開催記録（議事録等）をファイル保管、及び共有ファイルにデータ保管。
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	診療情報管理室 …診療情報管理委員会の開催記録（議事録等）をファイル保管、及び共有ファイルにデータ保管。
		医療安全管理部門の設置状況	医療クオリティマネジメントセンター …医療安全管理責任者を配置し、医療安全管理部、院内感染対策部、クオリティインプループメント部、医療クオリティマネジメント部を統括している。
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医療クオリティマネジメントセンター …平成28年10月1日付で医療クオリティマネジメントセンターに高難度新規医療技術管理部を設置。
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	医療クオリティマネジメントセンター …平成28年10月1日付で医療クオリティマネジメントセンターに未承認新規医薬品等管理部を設置。
		監査委員会の設置状況	医療クオリティマネジメントセンター …平成28年8月10日付で監査委員会を設置し、平成28年度は委員会を2回開催。
入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療クオリティマネジメントセンター …医療クオリティマネジメントセンター事務室でファイル保管。		

	他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医療クオリティマネジメントセンター	…医療クオリティマネジメントセンター事務室でファイル保管。
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	患者相談室	…患者相談室でファイル保管。
	医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	監査コンプライアンス室	…監査コンプライアンス室でファイル保管。
	職員研修の実施状況	医療クオリティマネジメントセンター	…医療クオリティマネジメントセンター事務室でファイル保管。
	管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	医療クオリティマネジメントセンター	…医療クオリティマネジメントセンター事務室でファイル保管。

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状	
閲覧責任者氏名	山口 俊晴		
閲覧担当者氏名	総務部 山崎周士		
閲覧の求めに応じる場所	総務課、患者相談窓口、相談室等		
閲覧の手続の概要			
総務課、患者相談窓口にて閲覧申請の初期対応を実施。申請内容により各記録の担当者へ連絡、閲覧の承認を得た後、申請者へ連絡・閲覧を実施する。			

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0	件
閲覧者別	医師	延	0 件
	歯科医師	延	0 件
	国	延	0 件
	地方公共団体	延	0 件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

(様式第6)

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <p>第1 医療安全管理に関する基本的考え方 第2 医療安全管理委員会・組織に関する基本的事項 第3 医療安全管理のための職員研修に関する基本方針 第4 アクシデント報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針 第5 重大事故発生時の対応に関する基本方針 第6 医療従事者と患者との間の情報共有に関する基本方針 第7 患者からの相談への対応に関する基本方針 第8 その他医療安全の推進のために必要な基本方針</p>	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<p>・ 設置の有無 (有・無) ・ 開催状況：年 22 回 ・ 活動の主な内容： ・ 医療安全管理指針の策定・変更・職員への周知。 ・ 重大問題等の原因究明のための調査・分析を行うこと。分析結果を活用し医療安全のための組織としての改善策の企画を立案・実施し、職員への周知をなすこと。また、改善策の実施状況の調査、方策の見直しをなすこと ・ 入院患者死亡報告（入院患者の死亡の事実・死亡前の状況について主治医・担当医から医療安全管理部に宛ててなされる報告）、重大事故報告（通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして病院長が指針に定める水準（当院では患者影響レベル3b）以上の事象が発生したとき、発生事実及び発生前の状況について医療安全管理部に宛ててなされる報告）の実施状況の確認、及び確認結果の病院長への報告。また、報告の実施状況が不十分な場合に、適切な報告のための研修及び指導をなすこと ・ 重要な検討内容について患者への対応状況を含め定期的に病院長に報告すること ・ その他、医療安全管理のための業務</p>	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 12 回
<p>・ 研修の主な内容： <u>全職員参加研修（2回必須参加）</u> ・ Professional autonomyとしての院内事故調査制度の推進と活用（平成28年4月23日（土）） ・ 冬場の感染対策・特定機能病院に求められる医療安全体制・医療をより安全にするために取り組みたいこと（平成28年12月6日実施） <u>医療安全研修（10回）</u> ・ 死亡・重大事故の対応手順について（平成28年12月6日実施） ・ 薬剤師がマネジメントする麻薬管理とレジメン監査の話（麻薬の適正な管理・レジメン監査の現状）（平成28年6月27日実施） ・ 院内における医療安全活動の実際（平成28年7月25日実施） ・ CVポート・ITポートに使用する穿刺針と薬液注入路の識別ラベルについて（平成28年8月25日実施） ・ 除細動器の取り扱いについて（平成28年9月7日実施） ・ 医療事故の経験から伝えたいこと～同じ苦しみを繰り返さないために～（平成28年9月8日実施・平成29年1月23日 DVD上映実施） ・ 外来化学療法における医療安全（平成28年11月14日実施） ・ 医薬品安全管理研修会 点滴速度、濃度に注意が必要な薬の話（平成29年2月13日実施） ・ M&Mカンファレンス -この一年-（平成29年3月9日実施）</p>	

④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医療機関内における事故報告等の整備 (・無)
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：
 - ・ 当事者・発見者が医療安全管理部にオンラインシステムでインシデントアクシデント (I A) レポート (合計6109件) を報告した。
 - ・ 報告された事例について、医療安全管理者が I A レポートの内容を確認し、医療安全管理者が各部署へ指導した。
 - ・ 各部署ではリスクマネージャ (RM) を中心に、事例の検討・ R C A 分析 (合計53回開催) を行った。
 - ・ RM代表者で構成されるRM部会 (合計50回開催) で I A レポートをとりまとめ、事例を評価・検討し、改善策案を立案する。
 - ・ 各部署およびRM部会で立案した改善策案をもとに、医療安全管理委員会 (合計22回開催) で改善策を検討・決定した。
 - ・ 医療安全管理部部長 (医療安全管理委員会副委員長) が、病院管理者連絡会議 (合計12回開催) ・ 部署 RM 連絡会 (合計10回開催) などを通じて、事例と改善策を周知した。

(注) 前年度の実績を記入すること。

(様式第 6)

規則第 1 条の 11 第 2 項第 1 号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<ul style="list-style-type: none">・ 指針の主な内容：<ul style="list-style-type: none">・ 院内感染対策に関する基本的考え方・ 院内感染対策のための委員会等病院感染対策の組織に関する基本的事項・ 院内感染対策のための職員に対する研修に関する基本方針・ 感染症の発生状況に関する基本方針・ 院内感染発生時の対応に関する基本方針・ 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針・ その他、院内感染対策推進のために必要な基本方針	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年12回
<ul style="list-style-type: none">・ 活動の主な内容：<ul style="list-style-type: none">・ 院内感染対策マニュアルの作成および最新の科学的・公衆衛生学的情報を踏まえた定期的な改訂・ 院内感染対策の実施状況の報告と改善策の立案・ 院内の感染症発生状況のサーベイランス結果の報告と結果を踏まえた改善策の立案・ アウトブレイクあるいは重要感染症発生時（疑い時を含む）の状況・対応報告と改善策の立案・ 院内感染に関する情報収集・共有および内外への情報発信の検討・ 職業感染予防策の実施状況の報告と改善策の立案・ 抗菌薬使用状況・多剤耐性菌等のサーベイランス情報の共有と改善策の立案・ その他、院内感染およびその防止にかかわるすべての事項	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 32 回
<ul style="list-style-type: none">・ 研修の主な内容：<ul style="list-style-type: none">・ 新入職員研修：「感染症診療、感染管理について」(1回)・ 新規看護師採用者オリエンテーション：「手指衛生とPPEの着脱、標準予防策 他」(2回)・ 中途採用者（新採用者）オリエンテーション：「感染対策 他」(11回)・ ボランティア研修：「感染対策について」(1回)・ 病院全体研修：「院内感染対策について」(1回)「冬場の感染対策」(1回)・ 委託清掃スタッフ研修：「病院清掃：感染対策の基本」(1回)・ 看護助手研修：「環境整備と職業倫理」(2回)・ リンクナース研修：「標準予防策と个人防护具の着脱方法 他」(9回)・ 部署別感染症勉強会：「血液悪性腫瘍患者 の感染症診療 他」(3回)	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none">・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有・無)・ その他の改善のための方策の主な内容：<ul style="list-style-type: none">・ 院内感染対策および感染症診療に関するコンサルテーション体制の整備・ 院内ラウンドを行い、感染対策に関する問題点の把握・分析、対策の立案、実施・評価・ 感染症発生状況および感染対策に関する情報提供（感染情報レポート・ICTニュースを作成し、院内ネットワーク掲示板に掲載）・ 院内感染対策マニュアルの整備・ 職業感染予防策の実施（ウイルス抗体価測定、ワクチン接種、針刺し・粘膜曝露対応）・ 手指衛生の指導と実施状況のモニタリング・ 院内感染対策実施のための院内の各部門・部署との連携	

(注) 前年度の実績を記入すること。

(様式第 6)

規則第 1 条の 11 第 2 項第 2 号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	☑有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 55 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>(1) 医薬品安全管理研修会 (3回/年)</p> <ul style="list-style-type: none">・ H28. 6. 27 「薬剤師がマネジメントする麻薬管理と抗がん薬」・ H28. 12. 01 「薬物療法による疼痛緩和」・ H29. 2. 13 「点滴速度、濃度に注意する薬剤」 <p>(2) 新入職者を対象とする入職時研修 (1回/年)</p> <ul style="list-style-type: none">・ H28. 4. 1 「薬の取り扱いー抗がん薬と麻薬を中心にー」 <p>(3) 中途採用者、復職者を対象とする研修 (3回/年 → H29. 1より実施)</p> <ul style="list-style-type: none">・ H29. 1/2/3 「薬の取り扱いー抗がん薬と麻薬を中心にー」 <p>(4) 病棟単位でのスタッフを対象とした共通研修 (各病棟×年3回、計48回)</p> <ul style="list-style-type: none">・ H28. 4~5 「フルニトラゼパム注投与時における呼吸抑制に対する対応」・ H28. 6~7 「注射投与に関する勉強会」 (新入職者対象)・ H28. 10~11 「新たに第3種向精神薬指定となる医薬品 (デパス、アモバン) について」	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・ 手順書の作成 (☑有・無)</p> <p>・ 業務の主な内容：</p> <p>(1) 手順書の定期的な見直しと改訂</p> <ul style="list-style-type: none">・ H28. 10. 1：医療法施行規則改訂に伴う「医薬品安全管理担当者」の指名・ H29. 1. 17：中途採用者の研修について／採用医薬品変更に伴う付表の改訂 (最終改訂) <p>(2) 手順書に基づく業務の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none">・ 薬剤部医薬品管理室長を、医薬品安全管理担当者に指名した。(H28. 10. 1)・ 各病棟担当薬剤師を医薬品安全管理担当補助者とし、週 1 回、業務チェックリストにより当該部署の確認を実施する。・ 医薬品安全管理担当者と病棟担当薬剤師は週 1 回の連絡会議を開き、情報共有を図る。・ 医薬品安全管理責任者は、医薬品安全管理担当者から状況報告を受け、必要に応じて対策を立案し必要な指示をする。また、月 2 回の薬剤部運営会議等で周知する。	

④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (・ 無)
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：

(1) 未承認薬等

- ・ 治験・臨床研究 ⇒ IRB (臨床研究等倫理審査委員会) で審議、
- ・ 試薬等を用いる特殊院内製剤依頼 ⇒ 薬事審査委員会で審議、
- ・ 患者の持ち込み ⇒ 薬剤師による入院時持参薬確認で把握、

(2) 適応外使用

- ・ 希少がん等に対する治療 ⇒ SRB (レジメン審査会)、化学療法部運営委員会で承認、未承認新規医薬品等管理部で把握
- ・ 55年通知適用事例 ⇒ 医事課及び未承認新規医薬品等管理部で把握
- ・ 公知申請 ⇒ 医事部で把握、確認
- ・ その他 ⇒ 薬剤師による処方監査時及び病棟カンファ等で把握

(3) 禁忌

- ・ 相互作用禁忌 ⇒ 処方オーダーリングシステムで一次チェック、薬剤師による処方監査時の確認
- ・ 適応禁忌 ⇒ 薬剤師による処方監査時及び病棟カンファ等で把握

(注) 前年度の実績を記入すること。

(様式第 6)

規則第 1 条の 11 第 2 項第 3 号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年13回
<ul style="list-style-type: none">・ 研修の主な内容：<ul style="list-style-type: none">・ 人工呼吸器の取り扱いについて・ 補助循環装置の取り扱いについて・ 血液浄化装置について・ 除細動器について・ 輸液ポンプ・シリンジポンプの取り扱いについて・ リニアックについて・ 診療用放射線照射装置について	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">・ 医療機器に係る計画の策定 (<input checked="" type="checkbox"/> 有・無)・ 保守点検の主な内容：<ul style="list-style-type: none">・ 委託業者による定期点検及び当院臨床工学技士による自主点検・ 補助循環装置・ 人工呼吸器・ 血液浄化装置・ 除細動器・ 診療用高エネルギー放射線発生装置・ 診療用放射線照射装置	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (<input checked="" type="checkbox"/> 有・無)・ その他の改善のための方策の主な内容：<ul style="list-style-type: none">・ 安全情報については、行政・PMDAからの情報を確認し、また製造販売業者からの通知、新聞記事などから収集し、当院該当機器については医療機器安全管理委員会で検討し、各部署へ周知する。・ 院内で起きたIA事例についてはイントラネットを活用し、医療安全通信に掲載して全体へ情報発信し、注意喚起を行っている。・ 不具合が生じた医療機器に関しては、ただちにPMDAへ報告をし、改善を求める。	

(注) 前年度の実績を記入すること。

④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	有・無
<p>・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 (有・無)</p> <p>・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容：規程に定められた事項の遵守状況の確認については、当該の委員会によらず、別委員会（診療情報管理委員会）で量的監査した結果報告を踏まえ、検証確認している。指導の主な内容としては、各診療科で作成する手術、検査同意説明書の標準的な説明内容、その他必要な事項や適切な書類になっているかの管理と確認を行っている。</p>	
⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	有・無
<p>・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容：</p> <p>診療録等の管理や記載内容の確認および指導は、診療情報管理委員会が行っている。委員長は診療録等管理責任者を兼務している。診療情報監査は、委員長1名と委員3名（医師）による質的監査と診療情報管理士による量的監査に分かれる。質的監査は量的監査対象患者の中から3名分抽出し監査を行う。量的監査は1診療科・退院患者1ヶ月分の監査を行う。監査結果は診療情報管理委員会にて審議し、当該診療科部長へ報告する。また、定期的に病院管理者連絡会議にも報告。問題のあるカルテ記載については、診療情報管理委員会委員長が当該医師・職員に面談し、口頭で指導している。具体的な指導内容は以下である。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 整理された順に沿って閲覧するだけで患者の全体像が把握できる 2) 事実を正確かつ客観的に記載している 3) 記載者以外にもわかりやすい 4) コピー&ペーストは多用されていない 5) あいまいな表現をしていない 6) 略語・外国語はできる限り使用しない 7) 誤字、脱字がない 8) 正しいICD-10病名がついている 9) IC時の説明内容はわかりやすく記載されている 10) 入院期間について、部長回診の記録の有無・処置や処方指示の記載、変更、訂正は正しく行われている・クリニカルパスの評価がされている 11) 退院サマリーの記載評価として、正確かつ、他者から見て分かりやすい内容である 	

⑥ 医療安全管理部門の設置状況	有・無
<p>・所属職員：専従（４）名、専任（２）名、兼任（４）名 うち医師：専従（０）名、専任（２）名、兼任（４）名 うち薬剤師：専従（１）名、専任（０）名、兼任（０）名 うち看護師：専従（２）名、専任（０）名、兼任（０）名</p> <p>※医師については２名の専任（医療安全管理者）をもって１名の専従と見なしている。</p> <p>（注）報告書を提出する年度の１０月１日現在の員数を記入すること</p> <p>・活動の主な内容：</p> <p>① 医療安全管理委員会で用いられる資料、議事録の作成及び保存その他、医療安全管理委員会の庶務を担当する。</p> <p>② 医療事故や医療安全管理者が対象として認めた事例について、院内事故調査委員会や有害事象調査委員会、事例検討会を開催し、根本原因や未然対策を検討する。</p> <p>③ 提出された入院患者死亡報告書・重大事象報告書の内容を調査のうえ、医療安全管理委員会・病院長へ報告する。</p> <p>④ インシデントアクシデント報告、医療事件事例、重大事件事例について、医療現場職員からヒアリングを行うと共に、カルテ記載・患者対応などについて指導・助言を与える。</p> <p>⑤ 医療安全管理委員会委員として、院内モニタリング（看護師の点滴投与ルート確認率、医師の外来患者確認手順遵守率、手術時の静脈血栓塞栓症予防実施率など）を行う。</p> <p>⑥ 全職員を対象とした医療安全に関する研修（上記②～⑤の内容を含む）を実施し、理解・認識状況を調査する。</p> <p>※平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。 ※医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。</p>	
⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	
<p>・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（有・無）</p> <p>・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（有・無）</p> <p>・活動の主な内容：</p> <p>① 高難度新規医療技術評価委員会に対し、高難度新規医療技術の提供の適否、実施の条件等について意見を求め、高難度新規医療技術の提供の適否、実施条件等を決定する。</p> <p>② 定期的な手術記録、診療録等の記載内容の確認等、高難度新規医療技術の提供に関する従業者の遵守状況を確認すること。</p>	

<p>③ 病院長への定期的な報告</p> <p>④ 委員会の審査資料、議事録、遵守状況の確認の記録の保管</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無 (<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無) ・ 高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無 (<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無) 	
<p>⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無 (<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無) ・ 未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無 (<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無) ・ 活動の主な内容 : <p>① 未承認新規医薬品等評価委員会に対し、使用の適否、使用条件等について意見を求め、未承認新規医薬品等の使用の適否、使用条件等を決定する。</p> <p>② 定期的な診療録等の記載内容の確認等、その使用についての遵守状況の確認</p> <p>③ 病院長への定期的な報告</p> <p>④ 委員会の審査資料、議事録、遵守状況の確認の記録の保管</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無 (<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無) ・ 未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無 (<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無) 	
<p>⑨ 監査委員会の設置状況</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> ・ 無</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 監査委員会の開催状況 : 年 2 回 (開催日 : 平成 28 年 9 月 8 日、平成 29 年 2 月 9 日) ・ 活動の主な内容 : <p>病院が実施する医療安全管理業務の適正な運営を確保するため、以下の業務を行う。</p> <p>① 医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者その他必要と認めるものの状況について、医療安全管理責任者、及びその他監査委員会として必要と認める者からの報告を求め、必要に応じて自ら確認を実施する。</p> <p>② 必要に応じ、理事長、又は病院長に対し、医療に係る安全管理についての是正措置を講ずるよう意見表明を行う。</p> <p>③ 上記①②の業務について、結果の公表を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無 (<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無) ・ 委員名簿の公表の有無 (<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無) ・ 委員の選定理由の公表の有無 (<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無) ・ 公表の方法 : がん研究会有明病院ホームページ 	

監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）					
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
遠山 信幸	自治医科大学 附属さいたま 医療センター 教授（医師）	○	客観的・専門的見 地から意見等を 述べるという委 員会の性格に鑑 み、医療安全を専 門としている教 授（医師）を構 成員とした。	有・無	1
大滝 恭弘	帝京大学板橋 キャンパス医 療共通教育研 究センター 准教授（弁 護士）		客観的・専門的見 地から意見等を 述べるという委 員会の正確に鑑 み、法律の専門 家、医療ジャー ナリズムに詳しい 学識経験者（弁 護士）を構成員 とした。	有・無	1
滝澤 邦夫	有明友の会 会長 (患者代表)		客観的・専門的見 地から意見等を 述べるという委 員会の性格に鑑 み、患者会代表 者の立場の方を 構成員とした。	有・無	2
關根 今生	がん研究会 有明病院 医師		以前に、症例検 討会で中心的に 関わっていたこ とがあり、適切 と考え、構成員 とした。	有・無	3
齊藤 彰一	がん研究会 有明病院 医師		前職で医療安全 の経験があるた め、適切と考え 、構成員とした。	有・無	3

- (注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。
1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
 2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
 3. その他

⑩ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

- ・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年約 440 件
- ・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年約 330 件
- ・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容
オンラインシステムを用いて、担当医が医療安全管理部へ報告書を提出する。医療安全管理部で報告書の記載内容を確認しリスト化する。医療安全管理委員会では、定例議題「入院患者死亡報告・重重大事象報告」において、医療安全管理部が調査した内容を提示し各事例を検討・評価する。医療安全管理委員会副委員長（医療安全管理者）が、検討・評価結果を添えて病院長へ報告する。

⑪ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

- ・他の特定機能病院等への立入り（ （病院名：静岡県立静岡がんセンター） ・無）
平成 29 年 2 月 23 日実施
- ・他の特定機能病院等からの立入り受入れ（ （病院名：国立国際医療センター） ・無）
平成 28 年 9 月 26 日実施
- ・技術的助言の実施状況
 - ①医療安全に関する規約で改訂時期など不明瞭なものがある。
 - ②同一手技の再実施の際に同意書が取得されていない事例があった。
 - ③アレルギー情報の入力方法を改善する。
 - ④DNAR 情報の記載が分かりにくい。
 - ⑤体内遺残確認のうち綿球の確認が行われていない。
 - ⑥薬剤師による病棟等の定数薬の確認については、月 1 回では少ないと思われる。
 - ⑦薬剤部からの情報発信の記録が整備されていない。
 - ⑧検体検査室における感染性廃棄ボックスの蓋が設置されていない。
 - ⑨病棟における ME 管理機器のラウンドがなく、管理体制を整備する。

⑫ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

・体制の確保状況

患者相談窓口に、医療安全の内容を含む相談の担当者として、専従の看護師を配置。

患者より相談が発生した場合の対応方法は、担当師長より、当該部署に内容照会を行うとともに医療安全管理部門へ連絡される。その後、医療安全管理部門の職員、及び関係者合同でカンファレンス

を行い、患者への対応方法を検討している。医療安全に関する相談事例は、全て病院長に報告される。また、相談への対応を行う体制等について、院内掲示・パンフレットでの掲載等を行うことで、患者等に対して周知を図っている。

⑬ 医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況

- ・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無（ ・ 無 ）
- ・ 窓口を提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関しする必要な定めの有無（ ・ 無 ）
- ・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無（ ・ 無 ）

⑭ 職員研修の実施状況

・ 研修の実施状況

平成 28 年 6 月 16 日に、各部署のリスクマネージャーが出席する部署 RM 連絡会において、特定機能病院の新承認要件（医療法施行規則第 9 条の 23 第 1 項関連）について概略を説明し各部門への周知を指示した。

平成 28 年 7 月 21 日の部署 RM 連絡会で、特定機能病院の新承認要件のうち医療安全管理部門・医療安全管理委員会の業務の変更点と相互立入について説明した。

平成 28 年 9 月 6 日に、すべての診療科責任者が出席する診療部長会に引き続き、管理職を対象に特定機能病院の新承認要件の説明会を実施した。

平成 28 年 9 月 13 日の部署 RM 連絡会で、他の特定機能病院との相互立入検査実施の予定について具体的に説明し、特定機能病院の各新承認要件に関する当院の対応状況について説明した。また、9 月 8 日に開催された医療安全監査委員会の監査結果・指摘事項について説明・報告を行い、周知を指示した。

平成 28 年 9 月 8 日の一般職員を対象とした医療安全研修会において、特定機能病院の新承認要件をテーマとして研修を実施した。情報周知の効果測定として、医療安全に関する講演会（平成 28 年 9 月 8 日）と、その内容のビデオ上映会（平成 28 年 9 月 16 日、9 月 30 日）で配布するアンケートに医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合の相談窓口の存在・役割（規則第 9 条の 23 第 1 項第 13 号関連）についての質問を設け、情報の浸透度合いを測定した。

平成 28 年 10 月 20 日に部署 RM 連絡会において、入院患者死亡報告の実施状況、および不十分な報告内容への指導・研修について説明をし、報告が不十分な場合、講習会を先に実施し、所属長より確認・指導することとし、改善がみられない場合に、報告者を召喚するという方針を告知した。

医療安全管理委員会・医療安全管理部の行う診療に関するモニタリングが平成 28 年 10 月末より

実施され、その結果については以後の各月開催の部署 RM 連絡会で結果が報告された。

平成 28 年 12 月 6 日に開催された全職員参加の全体研修会において、特定機能病院に求められる医療安全体制の要件について医療安全管理部部長より詳細な講義がなされた。また、講義内容に応じ知識の定着を測定する試験が実施された。

平成 29 年 2 月 16 日の部署 RM 連絡会で、2 月 9 日に実施された医療安全監査委員会の開催・講評結果が報告された。

規則第9条の23第1項第14号ハ「・・・連携及び協働して医療を提供するために必要な知識及び技能であって高度の医療を提供するために必要なものに関する事項」に関する研修として

- ・ Team STEPPS研修会（平成28年12月5日実施）

規則第1条の11第1項第三号に関する医療安全研修と兼ね開催したものとして

- ・ CVポート・ITポートに使用する穿刺針と薬液注入路の識別ラベルについて（平成28年8月25日実施）
- ・ 除細動器の取り扱いについて（平成28年9月7日実施）
- ・ 外来化学療法における医療安全（平成28年11月14日実施）
- ・ 医薬品安全管理研修会 点滴速度、濃度に注意が必要な薬の話（平成29年2月13日実施）

⑮ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・ 研修の実施状況

医療安全管理責任者：受講済

【役職・氏名】 副院長・医療QMCセンター長・麻酔科部長 横田美幸

【研修会名】 日本リスクマネジメント学会「医療安全倫理・モラル研修」

【受講日】 平成 29 年 6 月 11 日受講

医薬品安全管理責任者：受講済

【役職・氏名】 院長補佐・薬剤部長 濱敏弘

【研修会名①】 日本病院薬剤師会主催 平成 27 年度医薬品安全管理責任者等講習会

【受講日①】 平成 27 年 11 月 28 日

【研修会名②】 国際医療リスクマネジメント学会主催

2016 年秋季医薬品安全管理研修会（第 11 回）

【受講日②】 平成 28 年 11 月 12～13 日

医療機器安全管理責任者：受講済

- 【役職・氏名】 MEセンター長・頭頸科部長 三谷浩樹
- 【研修会名】 公益社団法人日本生体医工学会・公益財団法人医療機器センター共催
平成29年度医療機器安全基礎講習会（第39回ME技術講習会）
- 【受講日】 平成29年8月19日

管理者：未受講

- 【役職・氏名】 病院長 山口俊晴
- 【研修会名】 関東信越厚生局主催 医療安全に関するワークショップ
(※内容：医療事故の経験と患者サポートの経験から医療者に望むこと、
世界標準の医療安全医療事故情報収集事業の実際、ヒューマンファクターの基礎知識、
医療安全—医療者と患者・家族を支える21世紀システム)
- 【受講予定日】 平成29年12月4日（予定）

(注) 前年度の実績を記載すること (⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
・ 評価を行った機関名、評価を受けた時期 2012年 国際標準化機構 2016年 公益財団法人日本医療機能評価機構	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
・ 情報発信の方法、内容等の概要 当院ホームページにて情報を公開	

3 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
・ 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要 内科・外科・放射線科・病理診断科・他医療関係職が集う臓器別Cancer Boardを開催し、各症例の検討を実施、治療方針の決定を行っている。	

(様式第 8)

H 2 9 がん研発 第 028 号
平成 29 年 10 月 3 日

厚生労働大臣

殿

公益財団法人がん研究会 有明病院
開設者名 公益財団法人がん研究会
理事長 馬田 一 (印)

医療に係る安全管理のための体制整備に関する計画について

標記について、次のとおり提出します。

記

1. 管理職員研修（医療に係る安全管理のための研修、管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者向け）を実施するための予定措置

管理職員研修（医療に係る安全管理のための研修）は、管理者（未受講）、医療安全管理者（受講済）、医薬品安全管理者（受講済）、医療機器安全管理者（受講済）という受講状況である。

管理職（病院長）については、平成 29 年 12 月 4 日に受講を予定しており、こちらの受講をもって経過措置期間中の平成 30 年 3 月 31 日までに承認基準を満たす予定である。

尚、研修の詳細については、下記の通りである。

管理者；未受講

【役職・氏名】 病院長 山口俊晴

【研修会名】 関東信越厚生局主催 医療安全に関するワークショップ（管理者対象）
（※内容：医療事故の経験と患者サポートの経験から医療者に望むこと、世界標準の医療安全医療事故情報収集事業の実際、ヒューマンファクターの基礎知識、医療安全—医療者と患者・家族を支える 21 世紀システム）

【受講予定日】 平成 29 年 12 月 4 日（予定）

医療安全管理責任者：受講済

【役職・氏名】 副院長・医療安全 QMC センター長・麻酔科部長 横田美幸

【研修会名】 日本リスクマネジメント学会「医療安全倫理・モラル研修」

【受講日】 平成 29 年 6 月 11 日受講

医薬品安全管理責任者：受講済

- 【役職・氏名】 院長補佐・薬剤部長 濱敏弘
- 【研修会名①】 日本病院薬剤師会主催 平成 27 年度医薬品安全管理責任者等講習会
- 【受講日①】 平成 27 年 11 月 28 日
- 【研修会名②】 国際医療リスクマネジメント学会主催
2016 年秋季医薬品安全管理研修会（第 11 回）
- 【受講日②】 平成 28 年 11 月 12～13 日

医療機器安全管理責任者：受講済

- 【役職・氏名】 MEセンター長・頭頸科部長 三谷浩樹
- 【研修会名】 公益社団法人日本生体医工学会・公益財団法人医療機器センター共催
平成 29 年度医療機器安全基礎講習会（第 39 回ME技術講習会）
- 【受講日】 平成 29 年 8 月 19 日

2. 医療安全管理部門の人員体制

- ・所属職員：専従（4）名、専任（2）名、兼任（4）名
- うち医師：専従（0）名、専任（2）名、兼任（4）名
- うち薬剤師：専従（1）名、専任（0）名、兼任（0）名
- うち看護師：専従（2）名、専任（0）名、兼任（0）名

※医師については2名の専任（医療安全管理者）をもって1名の専従と見なしている。

3. 医療安全管理部門の専従職員を配置するための予定措置

看護師（医療安全管理者）・薬剤師（医療安全管理者）・事務職員は既に1名ずつ専従している。

医師については実質的に専従しているものの、医療安全管理業務を専従とすることで既に保有している専門医資格を更新することができなくなるのではとの不安があるため、2名の専任（医療安全管理者）をもって1名の専従と見なしている。

学会によっては、要件が緩和されたため、経過措置期間中である平成 32 年 3 月 31 日までに承認基準を満たす予定である。